南区のまちづくりに向けた
アクションプラン

令和２年度（２０２０年度）～令和６年度（２０２４年度）

令和２年（２０２０年）６月
広島市南区役所

≪南区のシンボルマークについて≫

平和のシンボルのハトが飛び立つ姿と区名のミナミを組み合わせて図案化し、中央に市のマークを入れ、市とともに南区の平和と飛躍を表したものである。

≪表紙の写真について≫

MAZDA Zoom-Zoom スタジアム広島

MAZDA Zoom-Zoom スタジアム広島は、広島市の「楕円形の都心づくり」の東の核に位置しており、野球観戦はもとより年間を通じて県内外から多くの人々が訪れる南区が誇るにぎわい拠点の一つである。また、広島東洋カープの本拠地として市民・区民に愛着を持って親しまれている象徴的な施設でもある。

【施設概要】
広島市民球場として、平成２１年（２００９年）３月２８日に完成。
開場時からマツダ株式会社が命名権を取得し、「MAZDA Zoom-Zoom スタジアム広島」（略称「マツダスタジアム」）の呼称を用いている。
収容人数：33,000 人（観客定員）
グラウンド面積：12,710 ㎡

南区のまちづくりに向けたアクションプランの策定に当たって

南区は、広島駅と広島港という陸と海の二つの玄関を擁するとともに、比治山、黄金山、元宇品、似島及び金輪島といった豊かな自然があり、魅力あるまちづくりを進める上で大変恵まれた環境にあります。

他方で、近年は町内会・自治会への加入率が年々減少し、次世代の担い手の育成が課題になるなど、地域コミュニティの活力低下が懸念されています。

このアクションプランは、地域コミュニティ活動の活性化を図るとともに、区民の皆様や諸団体、企業と協同して、これまで以上に住民主体のまちづくりを進めていくための方向性を取りまとめたものであり、今後は、このアクションプランに添って、南区のまちづくりを進めてまいりたいと考えております。

最後になりましたが、本アクションプランの策定にあたって、貴重な御意見や御提案をいただきました、南区まちづくり懇談会の委員の皆様を始め、関係者の皆様に、心より感謝を申し上げます。

令和２年（２０２０年）６月

南区長　漆原　正浩

目　　次

１　アクションプランの位置付け

⑴　アクションプランの位置付け・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1

⑵　計画期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　1

２　南区の現状や課題・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　3

３　南区のまちづくりの方向性・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　5

まちづくりの方向性①・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　8

まちづくりの方向性②・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　10

まちづくりの方向性③・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　12

まちづくりの方向性④・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　14

４　南区まちづくり懇談会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　16

⑴　南区まちづくり懇談会　委員名簿・・・・・・・・・・・・・・・・・　16

⑵　南区まちづくり懇談会　開催状況・・・・・・・・・・・・・・・・・　16

５　座長のことば・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　17

資料編

Ⅰ　南区の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　18

Ⅱ　「南区のまちづくりの方向性」検討資料・・・・・・・・・・・・・　39

Ⅲ　南区まちづくり懇談会での意見の基本計画への反映等について・　40

Ⅳ　南区における現行のまちづくり事業のこれまでの取組と評価について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・　42

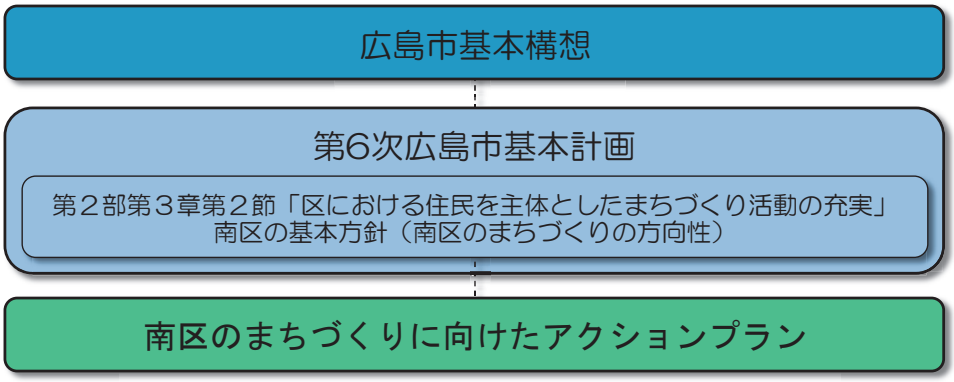
Ⅴ　「南区のまちづくりの方向性」に基づき今後5年間で検討する事業についての事前の意見照会結果・・・・・・・・・・・・・・・　44

1　アクションプランの位置付け

(1)　アクションプランの位置付け

第 6 次広島市基本計画の第 2 部第 3 章第 2 節「区における住民を主体としたまちづくり活動の充実」の中で、南区の基本方針（南区のまちづくりの方向性）を示した。（本紙 5～7 ページ参照）

本アクションプランは、南区が目指す「まちづくり」を実現するための具体的な行動計画として策定するものである。



(2)　計画期間

令和 2 年度（2020 年度）から令和 6 年度（2024 年度）までの 5 年間とする。

第６次広島市基本計画における南区内の取組

比治山地区

➢比治山公園「平和の丘」構想の実現に向けた取組の推進
【第２部第３章第１節　デルタ市街地やその周辺部、中山間地・島しょ部のまちづくり】

➢公益財団法人放射線影響研究所の機能強化のための移転促進
【第２部第５章第２節　保健・医療・福祉の充実】

➢現代美術館における平和の発信機能の強化
【第２部第４章第２節　文化・スポーツの振興】

その他の地区

➢広島大学病院との連携強化により、質の高い効果的・効率的な医療提供体制の構築
【第２部第５章第２節　保健・医療・福祉の充実】

➢トップス広島等との連携による地元プロスポーツ等の振興（ＪＴサンダーズ広島）
【第２部第４章第２節　文化・スポーツの振興】

➢被爆建物・被爆樹木の保存（旧広島陸軍被服支廠）
【第２部第１章第２節　「ヒロシマの心」の共有の推進】

➢地域主体の乗り合いタクシーの運行支援
【第２部第２章第１節　都市機能の充実強化】

広島港周辺地区

➢広域拠点（宇品・出島地区）
・地区の特性や役割に応じた都市機能の集積と各地区間の連携を強化する交通基盤の整備
・更なる機能の集積と公共交通を軸としたコンパクトなまちづくりの推進
【第２部第２章第１節　都市機能の充実強化】

➢広島特別支援学校における個別のニーズに応じた教育の充実
【第２部第５章第３節　未来を担う子どもの育成と教育】

広島駅周辺地区

➢広島駅周辺地区を都心の東の核と位置付け、都市機能の集積・強化を図るとともに、ＪＲ西日本が行う駅ビルの建替えと連携し、路面電車の高架乗り入れを含む広島駅南口広場の再整備等に取り組むなど、陸の玄関にふわさしいまちづくりの推進
➢広島駅における交通結節点整備などの交通機関相互の乗換利便性の向上
➢路面電車の駅前大橋ルートや市内中心部を環状で結ぶ循環ルートの整備等
【第２部第２章第１節　都市機能の充実強化】

➢トップス広島等との連携による地元プロスポーツ等の振興（広島東洋カープ）
【第２部第４章第２節　文化・スポーツの振興】

➢「水の都ひろしま」にふさわしい水辺を生かした取組の推進
【第２部第３章第１節　デルタ市街地やその周辺部、中山間地・島しょ部のまちづくり】

似島地区

➢島しょ部において、地域コミュニティ活性化のための担い手確保に向け、地元中小企業の雇用確保等を支援
➢水産業への理解の促進や多様な担い手の育成に取り組むとともに、地産地消や「6次産業化」、水産資源の維持・増大や漁業環境の整備の推進
【第２部第２章第２節　産業の振興】

➢瀬戸内海の多島美など豊かな自然を生かした観光プログラムの開発等を推進
【第２部第２章第３節　観光の振興】

➢交流人口の拡大に向け、自然や歴史、文化、伝統などの地域資源を活用
【第２部第３章第１節　デルタ市街地やその周辺部、中山間地・島しょ部のまちづくり】

➢地域の恵まれた自然を生かした「いきいき体験オープンスクール」など特色ある取組の更なる充実
【第２部第５章第３節　未来を担う子どもの育成と教育】

凡例
：ハード事業
：ソフト事業
【】内は計画の中の掲載節等

２　南区の現状や課題

⑴　南区は、太田川デルタの南東部（京橋川と猿猴川に囲まれた区域）、ＪＲ山陽本線沿線の広島駅周辺地区、大州、青崎、向洋地区及び似島や金輪島などの島しょ部を抱え、北部には広島市の陸の玄関である広島駅、南部には海の玄関である広島港を有している。

①　広島駅南口周辺地区には、商業・業務・住居などの諸機能が集積した再開発ビルや広島東洋カープの本拠地 MAZDA Zoom-Zoom スタジアム広島があり、本市の「楕円形の都心づくり」を支える東の核として更なる都市機能の集積・強化を進めている。

また、広島港の宇品地区から出島地区までの臨海部においては、海上交通や物流の拠点としての重要な役割を担いつつ、公園・緑地等の「みなと」の資源を活用した、地区外からのアクセス機能の強化や地区内の回遊性の向上によるにぎわい機能の強化を進めている。

②　似島は、大小数々の島で構成された内海の多島海景観で知られる瀬戸内海国立公園の一部であり、安芸小富士をはじめとする美しい自然を有している。

また、比治山、黄金山及び元宇品は、市街地や瀬戸内海が一望できるとともに、身近に自然や季節の移ろいを感じることのできる場として、地域住民はもとより多くの市民にも親しまれている。

こうした立地特性や豊かな自然の魅力を活用した美しいまちづくりが期待される。

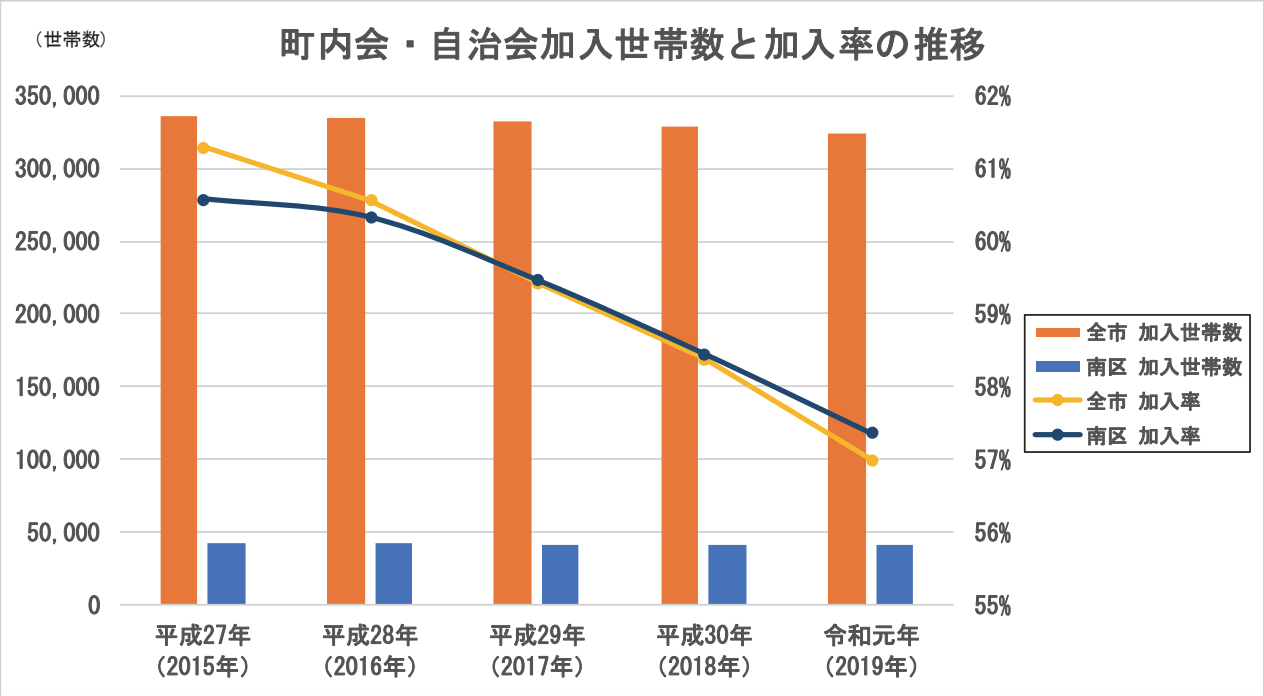
③　さらに、区内の各地域には、古くからの歴史や文化（邇保姫神社、旧国鉄宇品線及び現代美術館等）や地域の伝統（河童猿猴伝説及び天女姫伝説等）が残っている。とりわけ、似島では、数多くの戦争の遺構が残っているほか、日本で初めて、バウムクーヘンが作られ、またサッカーの国際親善試合が行われた地である。

区内には広島東洋カープやＪＴサンダーズ広島をはじめとするトップスポーツチームの拠点施設を有しているほか、地域における様々なスポーツ活動も活発である。

こうした歴史や文化を通じた地域のつながりや、スポーツを通じた住民の一体感を生かし、地域に愛着を持って心豊かに暮らせるまちづくりを一層推進していく。

⑵　近年、平成 30 年（2018 年）7 月豪雨をはじめとして、各地で大規模な自然災害が発生しており、改めて地域における人と人のつながりの重要性が認識されている。しかしながら、マンション等の集合住宅の増加や都市再開発等の進展等によりコミュニティを形成する住民構成が変化したことから、近所づき合いが希薄化するとともに、町内会・自治会への加入率が年々減少している。加えて、長年続けていた地域行事等の継続が危ぶまれるなど、地域を支える人材である次世代の担い手の育成や地域のつながりの強化が課題となっている。

こうした現状を踏まえ、地域コミュニティの再生や地域を支える人材の育成を図り、みんなで支え合い見守り合う安全・安心なまちづくりを推進していく必要がある。



出典：広島市の町内会・自治会の組織状況
広島市市民局市民活動推進課作成

区分		平成27年（2015年）	平成28年（2016年）	平成29年（2017年）	平成30年（2018年）	令和元年（2019年）
全市	住基登録世帯数(a)	547,902	553,357	558,977	563,334	568,418
	加入世帯数(b)	335,822	335,132	332,236	328,887	323,964
	加入率(b)／(a)	61.3%	60.6%	59.4%	58.4%	57.0%
南区	住基登録世帯数(a)	69,013	69,366	69,919	70,363	70,962
	加入世帯数(b)	41,806	41,844	41,577	41,129	40,706
	加入率(b)／(a)	60.6%	60.3%	59.5%	58.5%	57.4%

※　各年7月1日現在の世帯数

３　南区のまちづくりの方向性

地域の魅力と活力の向上や地域の課題解決に資する住民による主体的かつ継続的な活動の支援に取り組むことにより、地域特性を生かしたまちづくりを推進する。

ここでは、南区の現状や課題、区のまちづくり懇談会での意見を踏まえ、四つの柱で構成するまちづくりの方向性に沿って、その実現に向けた主な取組や新たな取組に向けた視点を掲げる。

また、ここで掲げた取組以外でも住民自ら行うまちづくり活動への支援を行う。

なお、まちづくりの推進にあたっては、地域の提案が施策に反映できる体制づくりを検討していく。

①　陸と海の玄関の特色を生かした多くの人が訪れるにぎわいのあるまちづくり

今後も更なる機能強化が見込まれる広島駅南口や広島港の周辺地区において、広島市の陸と海の玄関としての特色を生かし、住民、企業及び区役所等が協働して魅力を発信し、多くの人が訪れるにぎわいのあるまちづくりを進める。

広島駅南口周辺

②　人と人のつながりを大切にしたみんなが支え合う安全・安心なまちづくり

地域活動の担い手の育成や地域の防災・防犯力の強化など地域課題の解決に向け、住民の主体的なコミュニティづくりの取組に対する支援などにより、みんなが見守り支え合う安全・安心なまちづくりを進める。

地域行事（宇品西とんど祭り）

③　歴史を生かす、文化やスポーツを楽しむ地域に愛着を持って心豊かに暮らせるまちづくり

歴史的・文化的資源を保存・活用する取組やスポーツ活動など、子どもから高齢者、障害者など多様な住民が参加する様々な行事を通じて、みんなが地域に愛着を持って楽しく心豊かに暮らせるまちづくりを進める。

MAZDA Zoom-Zoom スタジアム広島

④　山や島などの豊かな自然の魅力を活用した美しいまちづくり

山や島などの豊かな自然の魅力に触れ、その大切さを学ぶことのできる環境づくりに取り組むとともに、それらの魅力を次世代へ継承していく、自然の魅力を活用した美しいまちづくりを進める。特に似島については、人口減少等の課題解決に向けて、その地域資源を生かした取組を重点的に進める。

似島

まちづくりの方向性①

陸と海の玄関の特色を生かした多くの人が訪れるにぎわいのあるまちづくり

概要

今後も更なる機能強化が見込まれる広島駅南口や広島港の周辺地区において、広島市の陸と海の玄関としての特色を生かし、住民、企業及び区役所等が協働して魅力を発信し、多くの人が訪れるにぎわいのあるまちづくりを進める。

【主な取組】

○　広島駅南口周辺地区におけるにぎわいのあるまちづくり

広島駅南口市街地再開発事業に伴い、新たなコミュニティの形成及び住民主体や地域の企業等による地域活動により、陸の玄関にふさわしいおもてなしとにぎわいのあるまちづくりが促進されるよう支援する。

・　広島駅周辺のまちづくりの取組（エリアマネジメント等）の促進とそれら活動との連携【写真１】

○　広島港周辺地区における海と島の魅力を活用したまちづくり

海の玄関である広島港周辺地区において、地域住民や立地企業等と協働して地域の魅力づくり事業を通じたにぎわいづくりを進める。

・　広島みなとフェスタの開催と一層の参加促進【写真２】

・　広島港の宇品地区から出島地区までの臨海部におけるにぎわいづくりの取組の促進とそれら活動との連携

今後５年間で検討・実施する事業（懇談会の発言を踏まえた取組に向けた視点）

○　地域で取り組む国内外からの来訪者へのおもてなし【写真３】

○　訪れ住みたくなる魅力あるまちづくり

・　ライトアップ、モニュメント、歩道のカラー化

○　プロスポーツ等を活用したにぎわいづくり

【取組の様子、取組例】

広島駅周辺のまちづくりの取組（エリアマネジメント等）の促進とそれら活動との連携【写真１】

広島駅周辺地区まちづくり協議会おもてなし一斉清掃

広島みなとフェスタの開催と一層の参加促進【写真２】

地域で取り組む国内外からの来訪者へのおもてなし【写真３】

例：宇品外貿ふ頭（通称１万トンバース）に入港する大型客船へのおもてなし

まちづくりの方向性②

人と人のつながりを大切にしたみんなが支え合う安全・安心なまちづくり

概要

地域活動の担い手の育成や地域の防災・防犯力の強化など地域課題の解決に向け、住民の主体的なコミュニティづくりの取組に対する支援などにより、みんなが見守り支え合う安全・安心なまちづくりを進める。

【主な取組】

○　地域の担い手育成の推進

地域の担い手育成のため、住民の主体的なコミュニティづくりの活動を支援する。

・　南区わくわくお花サロンの開催
・　旧国鉄宇品線跡地（国有地）の活用【写真４】
・　花と緑のまちづくり地域活動促進事業の推進【写真５】

○　安全・安心なまちづくりの推進

地域の防災・防犯力を強化するため、地域における自主防災組織や自主防犯組織等の活動を支援する。

・　防災まちづくり事業の推進【写真６】
・　「減らそう犯罪」事業の推進

○　交通安全対策の推進

自転車による交通事故が他区に比べて多いことから、区内の高等学校、警察等と連動した啓発活動を行う。

・　南区高等学校自転車事故等総合対策連絡会議の開催
・　交通安全運動街頭キャンペーン等の開催【写真７】

○　広島駅南口周辺地区におけるにぎわいのあるまちづくり[再掲]

・　広島駅周辺のまちづくりの取組（エリアマネジメント等）の促進とそれら活動との連携

今後５年間で検討・実施する事業（懇談会の発言を踏まえた取組に向けた視点）

○　地域の担い手として若い世代が地域活動に参加できる仕組みづくり
○　多様な世代や背景の異なる人ごとの意見を吸い上げることのできる仕組みづくり
○　様々な世代にとって活動の拠点となる地域資源の把握と活動拠点づくり
○　SNS（※1）等の新たな手法の活用による町内会等の地域活動の活性化や情報共有等

・　「ご近所の底力掲示板」活動（まちづくり活動の課題解決成功事例を掲示し、南区の他地区の参考にする）

○　地域づくりの繋ぎ手同士が顔を合わせてまちづくりの課題を協議するネットワークの構築

・　地域での積極的な声かけ運動による顔と顔が見える関係づくり

○　IoT（※2）を活用した地域における要支援者の見守り体制の構築

※1　Social Networking Service（ソーシャルネットワーキングサービス）の略で、登録された利用者同士が交流できるWebサイトの会員制サービスのこと。

※2　Internet of Things（インターネットオブシングス）の略で、モノのインターネットと訳され、家電製品やスマートフォンといったIT端末などのモノがインターネット経由で通信すること。

【取組の様子】

旧国鉄宇品線跡地（国有地）の活用【写真４】

菜園づくり

花と緑のまちづくり地域活動促進事業の推進【写真５】

防災まちづくり事業の推進【写真６】

防災訓練

交通安全運動街頭キャンペーン等の開催【写真７】

まちづくりの方向性③

歴史を生かす、文化やスポーツを楽しむ地域に愛着を持って心豊かに暮らせるまちづくり

概要

歴史的・文化的資源を保存・活用する取組やスポーツ活動など、子どもから高齢者、障害者など多様な住民が参加する様々な行事を通じて、みんなが地域に愛着を持って楽しく心豊かに暮らせるまちづくりを進める。

【主な取組】

○　地域資源の発掘による魅力づくり

地域に埋もれた自然や歴史等の資源を掘り起こし、魅力づくりにつながる情報を発信するとともに、魅力ある地域資源を生み出そうとする活動を支援する。

・　ニノシマボタルを育てる里人の会の支援[再掲]

○　地域資源の活用・発信による地域愛の醸成

地域資源や特性を生かしたイベント等の実施により、幅広く住民や地域企業の参画を促すほか、印刷物や各種媒体の作成等により南区の魅力を区内外に発信する。

・　南区トップスポーツ応援隊による区民応援デーの開催（広島東洋カープ及びＪＴサンダーズ広島）【写真８】
・　南区民スポーツ大会及び広島市スポーツ・レクリエーションフェスティバルへの参加
・　南区お宝スイーツの開発【写真９】
・　みなみ区まち探検の開催
・　自転車さんぽの開催
・　元宇品の自然保護と活用【写真 10】
・　南区散策ガイドの更新
・　南区の動画コンテンツの上映
・　似島の魅力発信の強化[再掲]

今後５年間で検討・実施する事業（懇談会の発言を踏まえた取組に向けた視点）

○　スポーツや文化活動を通した子どもから高齢者、障害者など多様な住民の交流の推進
○　ニュースポーツの普及と参加促進【写真 11】
○　Ｉターンを希望する人等に馴染みやすい環境づくり
○　各地域における伝統行事等を通じた地域間交流の促進
・　上記４つの視点のニーズを踏まえた多様な媒体（マップ、フリーペーパー、CATV、ラジオ等）による地域情報の発信強化

【取組の様子、取組例】

南区トップスポーツ応援隊による
区民応援デーの開催【写真８】

南区お宝スイーツの開発【写真９】

南区スイーツフェアの開催

元宇品の自然保護と活用【写真 10】

自然観察会「地球さんぽ」の開催

ニュースポーツの普及と参加促進【写真 11】

例：フラバールバレーボール

まちづくりの方向性④

山や島などの豊かな自然の魅力を活用した美しいまちづくり

概要

山や島などの豊かな自然の魅力に触れ、その大切さを学ぶことのできる環境づくりに取り組むとともに、それらの魅力を次世代へ継承していく、自然の魅力を活用した美しいまちづくりを進める。特に似島については、人口減少等の課題解決に向けて、その地域資源を生かした取組を重点的に進める。

【主な取組】

○　似島の魅力を活用したまちづくり

観光資源としても潜在的な可能性を秘めている似島において、島民の主体的な魅力づくり活動を支援するとともに、地域おこし協力隊や島内施設、事業者等と連携して魅力づくり事業を進める。

- 似島の魅力発信の強化【写真 12】
- ニノシマボタルを育てる里人の会の支援【写真 13】
- 島民による地域活性化の取組に向けた支援【写真 14】
- 似島臨海少年自然の家との連携

○　地域資源の活用・発信による地域愛の醸成[再掲]

- 南区お宝スイーツの開発
- みなみ区まち探検の開催
- 自転車さんぽの開催
- 元宇品の自然保護と活用
- 南区散策ガイドの更新

○　新たな魅力とにぎわいを創出するための黄金山山頂エリアの再整備【写真 15】

今後 5 年間で検討・実施する事業（懇談会の発言を踏まえた取組に向けた視点）

○　自然の魅力を感じられる憩いの空間の整備

【取組の様子】

似島の魅力発信の強化【写真 12】

バウムクーヘン焼き体験

ニノシマボタルを育てる里人の会の支援【写真 13】

ビオトープづくり

島民による地域活性化の取組に
向けた支援【写真 14】

島民による広島みなとフェスタへの出店支援

新たな魅力とにぎわいを創出するための
黄金山山頂エリアの再整備【写真 15】

北展望ゾーンの整備

4　南区まちづくり懇談会

(1)　南区まちづくり懇談会　委員名簿

（順不同、敬称略）

区　分	氏　名	所　属　等
座　長	松田　智仁	元　広島大学大学院社会科学研究科教授 現　広島市江波山気象館館長
副座長	田丸　尚美	広島都市学園大学子ども教育学部子ども教育学科教授
委　員	秋田　正洋	段原地区町内会連絡協議会会長
	沖本　啓子	南区スポーツ推進委員協議会会長
	越智　正紀	南区自主防災会連合会会長
	門　隆興	元宇品地区社会福祉協議会会長
	加藤　健夫	楠那学区社会福祉協議会会長
	神出　恭子	大河子育て広場「ぴよぴよ」代表
	角田　洋子	広島南交通安全運動推進隊副隊長
	髙橋　直嗣	南区青少年健全育成連絡協議会会長
	日浦　章裕	学区体育団体南区連合会会長
	平岡　果代子	南地区更生保護女性会会長
	丸山　義一	南区ＰＴＡ連合会会長
	向江　清	南区社会福祉協議会会長
	山口　厚司	比治山学区社会福祉協議会副会長

注：委員の役職は、令和２年（2020 年）３月時点のものである。

(2)　南区まちづくり懇談会　開催状況

区　分	開　催　日	議　　事
第１回	平成 31 年（2019 年） ２月 15 日	・　座長・副座長の選出 ・　広島市総合計画審議会の審議状況について ・　南区まちづくり懇談会について
第２回	令和元年（2019 年） ６月 27 日	・　南区のまちづくりの方向性（案）について
第３回	令和元年（2019 年） 12 月 19 日	・　南区のまちづくりに向けたアクションプラン（案）について
第４回	令和２年（2020 年） ３月　(※3)	・　全体取りまとめ

※3　第４回南区まちづくり懇談会においては、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から書面のやりとりで意見交換を行った。

虫の眼の視点から区民一人ひとりがまちづくりを担う

「まちづくり」は、かつては市街地の整備のことのように言われましたが、今では地域を舞台として主人公である住民自身が、まちに生きる様と言われるようになりました。暮らしや経済活動すべてであり、企業などの法人も主人公の一人となります。舞台は、時代時代のストックであり、その更新は行政や企業、住民も分担します。住民は健康で文化的な生活を続け、また求めながら地域を愛し、地域に誇りを持ち、営みを続け、まちづくりを実践していきます。住まうことをはじめ、あいさつ、そして清掃、花の世話、助け合い、声掛け、スポーツ、音楽・・祭りと続きます。それらはみんなのためでもあり、自己実現でもあります。まさに虫の眼の視点からのまちづくりです。これらの活動はその一つ一つが互いに作用し、合わさって地域の価値創造、地域風土の創出へと繋がっていきます。

今回の懇談会ではそれぞれの委員さんからたくさんの思いをお聞きし、それらをまちづくりの方針やアクションプランに反映することができました。この手法は、住民主体のまちづくりの原点です。こうした手法が一部とはいえ叶ったことは素晴らしいことと思います。委員の皆様をはじめ、事務局に感謝いたします。

アクションプランの計画期間である令和２年度（2020 年度）から令和６年度（2024 年度）では、広島駅南口周辺の建物の更新や路面電車のルート変更などが進むなど舞台の更新が見込まれる一方で、地域コミュニティの深化や、暮らしの安全・安心の確保、似島の魅力資源の活用などが課題となります。

これからの令和時代の南区のまちづくりに期待することとしては、「まちづくりはひとづくり」と言われますように、まずは人材の育成や活用が必要と考えます。地域風土は歴史が示すように、外部からの「風の人」と、地の「土の人」の融合によって創りだされます。まちづくり活動の主体が風の人か土の人かは活動内容によりますが、団塊の世代や南区内の大学生、さらには南区居住者に限らず関心を寄せる人たちに、まちづくり活動にどしどしご参画いただき、新たなコミュニティビジネスも伴いながら活動しましょう。

新時代では、①個人情報保護の枠組みを越えた防災コミュニティの形成、②法人町内会とも言えるエリアマネジメントの普及、③自治振興区制度の展開（地域への権限移譲）、④地域資源を生かした地域経営プロジェクトの協働による展開、⑤市民レベルの地球温暖化対策、の５点のテーマが重要なものと考えています。まちづくり活動においても注目していきたいと思います。

地域には既に歴史や文化、そして暮らしや産業の物語があり、時には新しい物語も加わります。生活の場としてのまちがあり続けるためには、舞台をよく観察し、主役であるみなさん、私たち自身は、話し合ってシナリオを描き、進んで活動していくことが大切です。地域資源を生かしながら、安心安全のために時には英断を下し、自慢でき、誇りと愛着をもてる「まち」を共に手を取り合って育てていきましょう。

令和２年（2020 年）６月

南区まちづくり懇談会座長　松田 智仁

南区の概要

令和2年度（2020年度）版

目　次

1. 南区の概要 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 19
- ●特徴
- ●面積等

2. 面積･人口･世帯 ・・・・・・・・・・ 20～23
- ●各区の面積・世帯数・人口
- ●人口・世帯数の推移（国勢調査）
- ●年齢３区分別人口割合（国勢調査）
- ●世帯人員別一般世帯数及び一般世帯人員
- ●昼・夜間人口（国勢調査）
- ●各区の人口動態の推移
- ●各区の年齢、男女別住民基本台帳人口

3. 産業 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 24･25
- ○事業所
- ●事業所数と従業者数
- ●産業別事業所数及び従業者数
- ○商　業
- ●事業所数・従業者数・売上(収入)金額
- ●卸売・小売業の産業別商店数
- ●卸売・小売業の産業別年間商品販売額
- ○工　業
- ●事業所数・従業者数・製造品出荷額等

4. 保健･福祉･医療 ・・・・・・・・・・・・・・・ 26
- ●国民年金取扱状況（拠出年金）
- ●病院の概況
- ●医療及び環境衛生関係施設
- ●保育所等
- ●生活保護世帯の状況
- ●民生委員・児童委員

5. 土木･建築 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 27
- ●市道概況
- ●橋りょう概況
- ●公園等の設置状況
- ●市営住宅区別・種別管理戸数

6. 上下水道 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 28
- ●水道事業
- ●公共下水道事業

7. 防災･消防 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 29
- ●南区内の避難場所
- ●南区火災発生状況等
- ●交通事故の発生状況

8. 選挙 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 30
- ●選挙人名簿登録者数・議員定数
- ●各種選挙の投票率

9. 南区選出市･県議会議員 ・・・・・・・・ 31
- ●市議会議員名簿
- ●県議会議員名簿

10. 市民相談 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 32

11. 指定文化財 ・・・・・・・・・・・・・・・・・ 33

12. 主なできごと ・・・・・・・・・・・・・ 34･35

13. 南区役所のしごと ・・・・・・・・ 36～38
- ●南区役所の機構と主な仕事
- ●南区役所各階案内図

※南区役所の連絡先、位置図

1．南区の概要

●特徴

南区は、太田川デルタの南東部（京橋川と猿猴川に囲まれた区域）、ＪＲ山陽本線以南の広島駅周辺地区、大州、青崎、向洋地区及び似島や金輪島などの島しょ部を抱え、北部には広島市の陸の玄関であるＪＲ広島駅、南部には海の玄関である広島港を有しています。

ＪＲ広島駅南口地区は、商業・業務・住居などの諸機能が集積した再開発ビルや広島東洋カープの本拠地マツダズームズームスタジアム広島があります。段原地区でも、再開発事業が完了し新たなまちづくりが進められています。

広島港のある宇品･出島地区は、海上交通や国際交流･物流の拠点としての役割を担っています。また、似島は安芸小富士として知られ、恵まれた自然環境のもと、登山や魚釣りなどのレクリエーション拠点として市民に親しまれています。

さらに、比治山、黄金山、元宇品は公園・緑地として整備されています。

●面積等

区　分	数　値	備　　考
面　積	26.46ｋ㎡	市域約 906.68ｋ㎡の約 2.9%
人　口	142,812 人	市全体 1,194,330 人の約 12.0%
世帯数	71,236 世帯	市全体 570,638 世帯の約 12.5%
高齢化率 （南区の 65 歳以上人口）	24.4% （34,858 人）	市全体の高齢化率 25.3% （市全体の 65 歳以上人口：302,154 人）

（令和 2 年 3 月末現在　ただし、面積は平成 30 年 10 月 1 日現在）

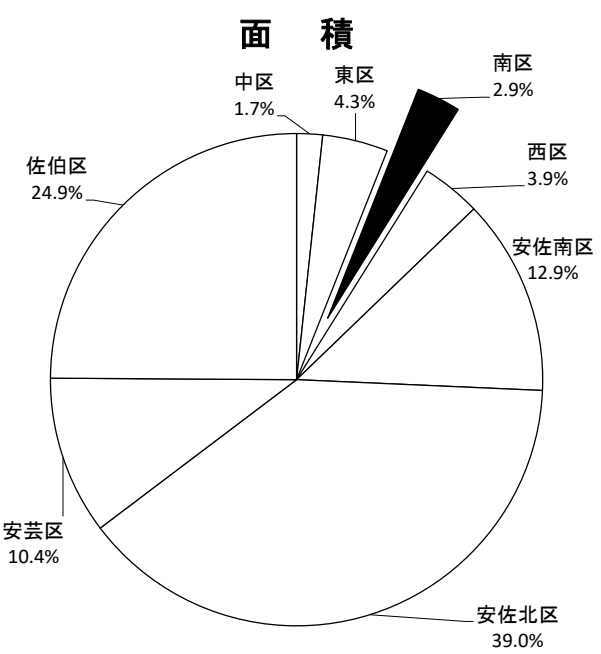
2．面積・人口・世帯

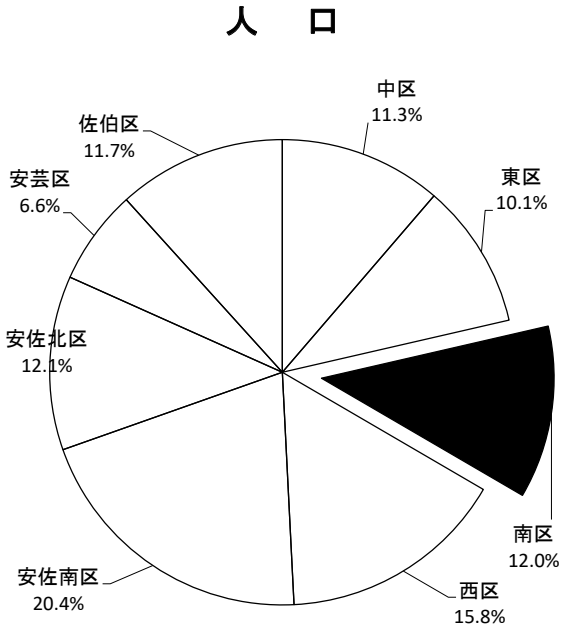
●各区の面積・世帯数・人口（住民基本台帳）

区　　分	面　積（K㎡）		世帯数（世帯）		人　口（人） 総数	男	女	人口密度（K㎡当たり）	平　均 世帯人数
中　区	15.32	1.7%	(2,414)	77,727 [733]	135,069 (4,386)	62,988 (1,989)	72,081 (2,397)	8,817	1.74
東　区	39.42	4.3%	(999)	56,749 [381]	120,337 (1,941)	57,803 (922)	62,534 (1,019)	3,053	2.12
南　区	**26.46**	**2.9%**	**(1,347)**	**71,236 [399]**	**142,812 (2,283)**	**69,985 (1,153)**	**72,827 (1,130)**	**5,397**	**2.00**
西　区	35.61	3.9%	(2,824)	94,969 [647]	189,038 (4,489)	91,460 (2,236)	97,578 (2,253)	5,309	1.99
安佐南区	117.03	12.9%	(1,229)	105,781 [612]	244,240 (2,284)	119,428 (1,093)	124,812 (1,191)	2,087	2.31
安佐北区	353.33	39.0%	(1,314)	65,959 [361]	143,405 (2,143)	68,946 (963)	74,459 (1,180)	406	2.17
安芸区	94.08	10.4%	(1,137)	35,767 [201]	79,317 (1,712)	39,635 (867)	39,682 (845)	843	2.22
佐伯区	225.43	24.9%	(728)	62,450 [283]	140,112 (1,238)	68,113 (636)	71,999 (602)	622	2.24
全　市	906.68	100.0%	(11,992)	570,638 [3,617]	1,194,330 (20,476)	578,358 (9,859)	615,972 (10,617)	1,317	2.09

（令和2年3月末現在　ただし、面積は平成30年10月1日現在）

注：「世帯数」及び「人口」欄の（　）は、外国人で内数です。
　　「世帯数」欄の[　]は、日本人と外国人で構成される複数国籍世帯数で内数です。



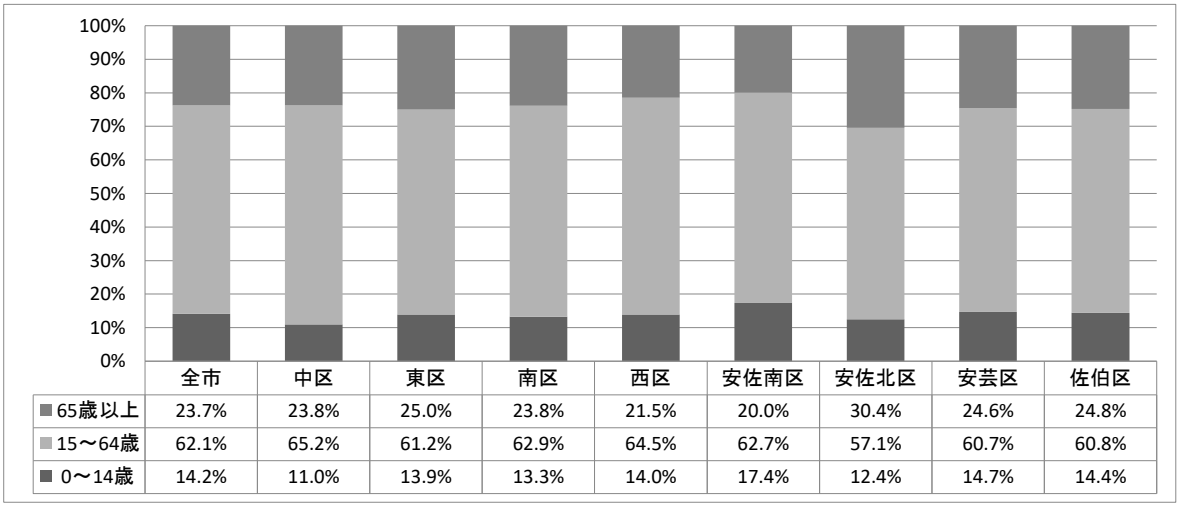


●人口・世帯数の推移（国勢調査）

区分		中区	東区	**南区**	西区	安佐南区	安佐北区	安芸区	佐伯区	全市
平成７年	世帯数	62,402	47,049	**60,604**	76,541	68,728	50,054	25,929	46,006	437,313
	人口	128,360	124,829	**138,208**	178,838	185,414	154,079	74,542	132,847	1,117,117
平成１２年	世帯数	63,839	48,420	**60,822**	79,857	80,109	53,597	27,267	49,224	463,135
	人口	124,719	123,258	**135,467**	179,519	204,636	156,387	75,435	134,713	1,134,134
平成１７年	世帯数	68,055	49,271	**63,539**	83,896	87,597	55,243	28,832	50,983	487,416
	人口	127,763	121,222	**137,874**	184,795	219,343	152,716	76,656	134,022	1,154,391
平成２２年	世帯数	73,281	50,605	**66,357**	87,222	95,188	56,550	30,310	53,394	512,907
	人口	130,482	120,751	**138,190**	186,985	233,733	149,633	78,789	135,280	1,173,843
平成２７年	世帯数	76,889	51,790	**68,785**	90,461	99,411	57,151	31,302	55,816	531,605
	人口	136,640	120,155	**142,728**	190,929	242,512	145,018	79,353	136,699	1,194,034

（各年10月1日現在）

●年齢３区分別人口割合（国勢調査）



	全市	中区	東区	南区	西区	安佐南区	安佐北区	安芸区	佐伯区
65歳以上	23.7%	23.8%	25.0%	23.8%	21.5%	20.0%	30.4%	24.6%	24.8%
15～64歳	62.1%	65.2%	61.2%	62.9%	64.5%	62.7%	57.1%	60.7%	60.8%
0～14歳	14.2%	11.0%	13.9%	13.3%	14.0%	17.4%	12.4%	14.7%	14.4%

注：年齢不詳を除いて算出しています。　（平成27年10月1日現在）

●世帯人員別一般世帯数（国勢調査）

区分		中区	東区	**南区**	西区	安佐南区	安佐北区	安芸区	佐伯区	全市
1人世帯	世帯数	44,325	17,643	**31,384**	38,646	31,285	13,779	8,381	15,988	201,431
	構成比	57.7%	34.1%	**45.7%**	42.8%	31.5%	24.1%	26.8%	28.7%	37.9%
2人世帯	世帯数	16,993	15,261	**16,766**	23,616	26,815	19,683	9,517	17,193	145,844
	構成比	22.1%	29.5%	**24.4%**	26.1%	27.0%	34.5%	30.5%	30.8%	27.5%
3人世帯	世帯数	8,446	9,224	**10,175**	14,111	18,587	11,219	6,204	11,023	88,989
	構成比	11.0%	17.8%	**14.8%**	15.6%	18.7%	19.7%	19.9%	19.8%	16.8%
4人世帯	世帯数	5,363	7,033	**7,757**	10,632	16,438	8,416	5,126	8,333	69,098
	構成比	7.0%	13.6%	**11.3%**	11.8%	16.6%	14.7%	16.4%	15.0%	13.0%
5人世帯	世帯数	1,362	2,050	**2,116**	2,764	4,927	2,932	1,573	2,499	20,223
	構成比	1.8%	4.0%	**3.1%**	3.1%	5.0%	5.1%	5.0%	4.5%	3.8%
6人以上の世帯	世帯数	324	510	**511**	592	1,255	1,041	428	702	5,363
	構成比	0.4%	1.0%	**0.7%**	0.7%	1.3%	1.8%	1.4%	1.3%	1.0%
計	世帯数	76,813	51,721	**68,709**	90,361	99,307	57,070	31,229	55,738	530,948

注：病院等の入院者や矯正施設（刑務所等）の入居者を除きます。　（平成27年10月１日現在）

●昼・夜間人口（国勢調査）

区　　分	夜間人口　（人）	昼間人口　（人）	昼夜間人口比率　（%）
全市	1,176,126	1,193,112	101.4%
南区	**137,630**	**155,174**	**112.7%**

注　昼夜間人口比率は夜間人口を１００とした昼間人口の割合です。　（平成27年10月1日現在）

●各区の人口動態の推移（令和元年版　広島市統計書）

区　　分		自然動態			社会動態			死産	婚姻	離婚
		出生	死亡	自然増減	転入等	転出等	社会増減	（胎）	（件）	（件）
中　区	平成２５年	1,130	1,189	▲ 59	9,670	8,820	850	24	912	241
	２９年	1,071	1,248	▲ 177	10,261	9,351	910	25	878	264
東　区	平成２５年	1,051	1,050	1	6,094	6,578	▲ 484	31	642	240
	２９年	953	1,136	▲ 183	6,140	6,205	▲ 65	17	541	229
南　区	**平成２５年**	**1,238**	**1,176**	**62**	**7,896**	**7,415**	**481**	**21**	**853**	**215**
	２９年	**1,209**	**1,280**	**▲ 71**	**8,547**	**7,849**	**698**	**16**	**770**	**193**
西　区	平成２５年	1,877	1,465	412	11,035	11,188	▲ 153	44	1,244	361
	２９年	1,762	1,587	175	10,620	11,048	▲ 428	33	1,148	316
安佐南区	平成２５年	2,918	1,522	1,396	12,402	11,902	500	52	1,369	428
	２９年	2,541	1,693	848	11,843	11,568	275	51	1,274	433
安佐北区	平成２５年	964	1,534	▲ 570	4,527	5,063	▲ 536	25	627	293
	２９年	844	1,672	▲ 828	4,265	4,788	▲ 523	18	558	225
安芸区	平成２５年	790	633	157	3,615	3,495	120	13	394	142
	２９年	669	698	▲ 29	3,477	3,815	▲ 338	10	449	144
佐伯区	平成２５年	1,185	1,086	99	5,966	5,685	281	28	677	252
	２９年	1,116	1,148	▲ 32	5,783	5,545	238	25	601	217

注１　外国人を除いています。
　２　社会動態には区間移動を含んでいます。
　３　転入等には職権記載等を含み、転出等には職権消除等を含んでいます。

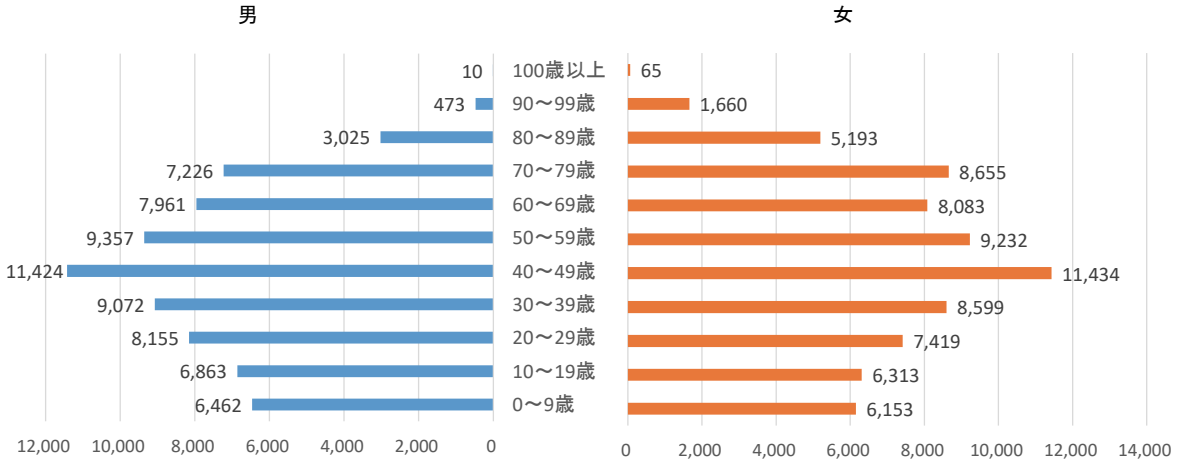
●各区の年齢、男女別住民基本台帳人口（令和元年版　広島市統計書）

区　分	0～9歳	10～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80～89歳	90～99歳	100歳以上
中　区	5, 221	5, 059	7, 648	8, 948	10, 371	8, 654	7, 465	6, 538	2, 673	463	6
	5, 008	4, 813	8, 398	9, 525	11, 425	9, 118	8, 201	8, 539	5, 226	1, 690	70
東　区	5, 468	5, 911	5, 779	6, 843	8, 938	8, 013	6, 989	6, 650	2, 851	448	10
	5, 177	5, 653	5, 998	6, 952	9, 216	8, 319	7, 402	8, 007	4, 512	1, 345	50
南　区	**6, 462**	**6, 863**	**8, 155**	**9, 072**	**11, 424**	**9, 357**	**7, 961**	**7, 226**	**3, 025**	**473**	**10**
	6, 153	**6, 313**	**7, 419**	**8, 599**	**11, 434**	**9, 232**	**8, 083**	**8, 655**	**5, 193**	**1, 660**	**65**
西　区	8, 335	8, 775	11, 155	12, 125	15, 258	12, 346	10, 401	8, 938	3, 764	675	13
	8, 032	8, 598	10, 886	12, 002	15, 428	12, 664	10, 940	10, 788	6, 302	1, 999	88
安佐南区	13, 416	13, 980	13, 014	15, 211	21, 233	14, 778	11, 114	11, 313	4, 677	704	14
	12, 972	13, 668	12, 764	15, 458	21, 183	14, 357	12, 095	13, 455	6, 876	1, 942	88
安佐北区	5, 219	6, 759	6, 435	6, 924	10, 167	8, 389	9, 741	10, 766	4, 252	650	12
	5, 087	6, 503	6, 195	6, 772	9, 900	8, 902	11, 049	12, 104	6, 213	2, 046	99
安芸区	3, 563	4, 234	4, 717	4, 658	6, 122	5, 174	4, 373	4, 708	1, 963	271	7
	3, 411	3, 855	3, 932	4, 235	5, 844	5, 042	4, 534	5, 282	2, 815	858	47
佐伯区	6, 736	6, 881	6, 643	8, 222	10, 434	8, 307	8, 924	8, 078	3, 205	534	10
	6, 504	6, 635	6, 470	8, 212	10, 373	8, 822	9, 578	9, 020	4, 676	1, 557	62
全市	54, 420	58, 462	63, 546	72, 003	93, 947	75, 018	66, 968	64, 217	26, 410	4, 218	82
	52, 344	56, 038	62, 062	71, 755	94, 803	76, 456	71, 882	75, 850	41, 813	13, 097	569

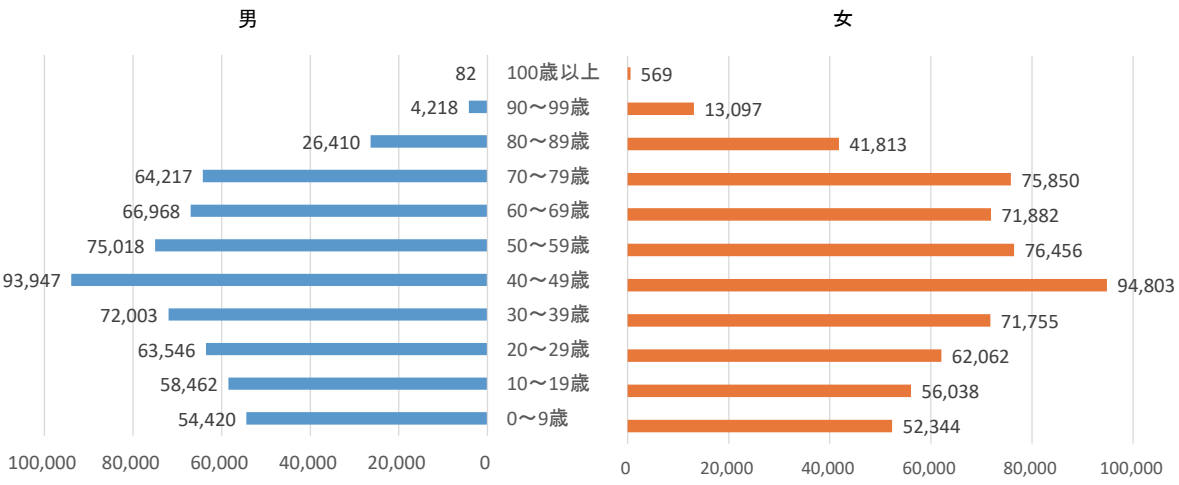
（令和元年9月30日現在）

注　上段：男、下段：女

南区



全市



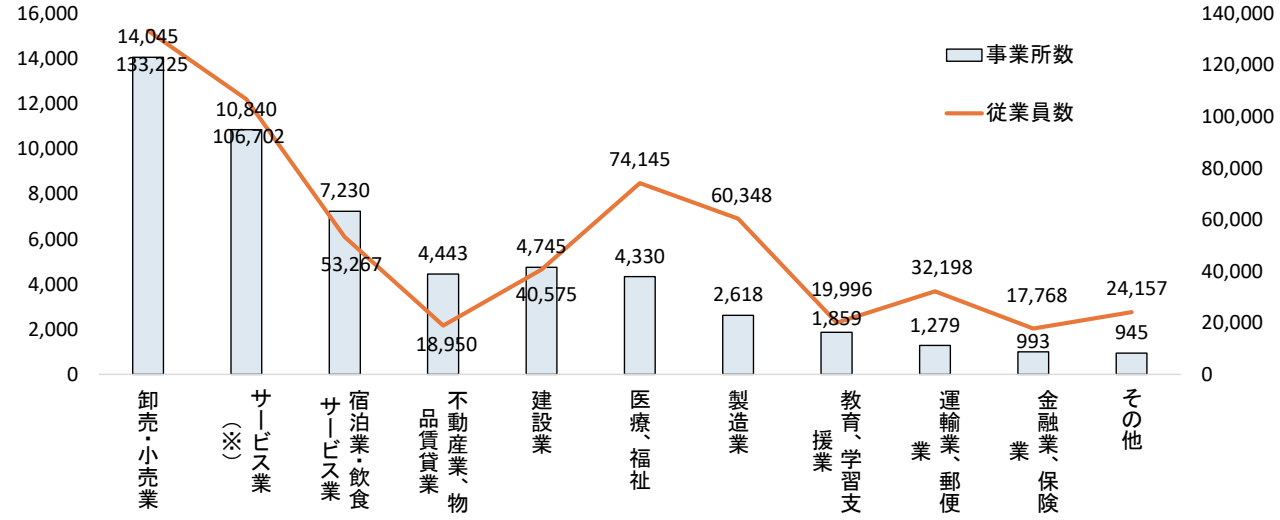
3. 産業

事業所（経済センサス－基礎調査、平成２８年６月１日現在）

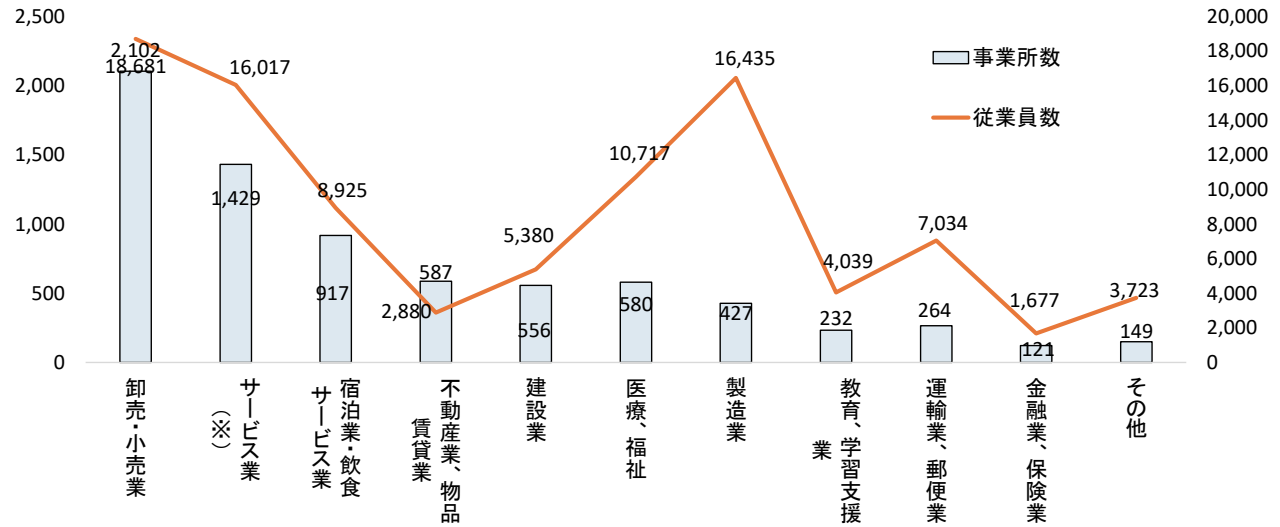
●事業所数と従業者数

区　　分	事業所数(事業所)	構成比	従業者数（人）	構成比
中区	15,537	(29.1%)	177,845	(30.6%)
東区	3,643	(6.8%)	37,667	(6.5%)
南区	**7,364**	**(13.8%)**	**95,508**	**(16.4%)**
西区	8,800	(16.5%)	94,430	(16.2%)
安佐南区	7,036	(13.2%)	71,821	(12.4%)
安佐北区	4,610	(8.6%)	44,502	(7.7%)
安芸区	1,916	(3.6%)	22,254	(3.8%)
佐伯区	4,421	(8.3%)	37,304	(6.4%)
全市	53,327	(100.0%)	581,331	(100.0%)

●産業別事業所数及び従業者数（全市）



●産業別事業所数及び従業員数（南区）



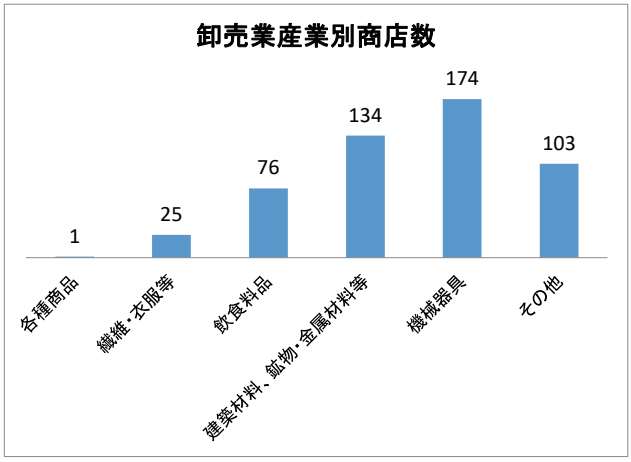
※「サービス業」とは、学術研究、専門・技術サービス業、生活関連サービス業、娯楽業、複合サービス業、他に分類されないサービス業をさします。

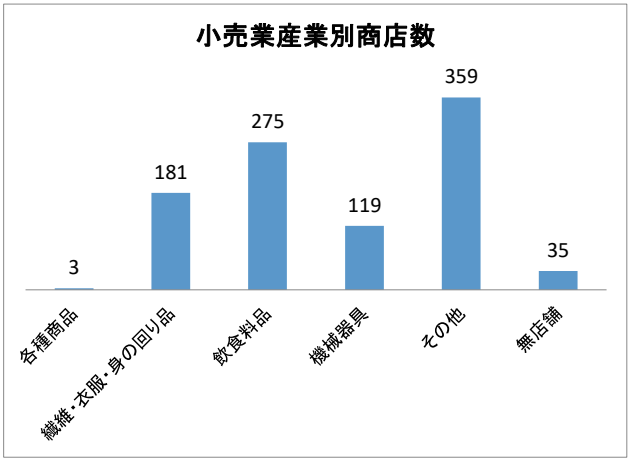
商業（商業統計調査（卸売業・小売業）、平成26年7月1日現在）

●事業所数・従業者数・売上（収入）金額

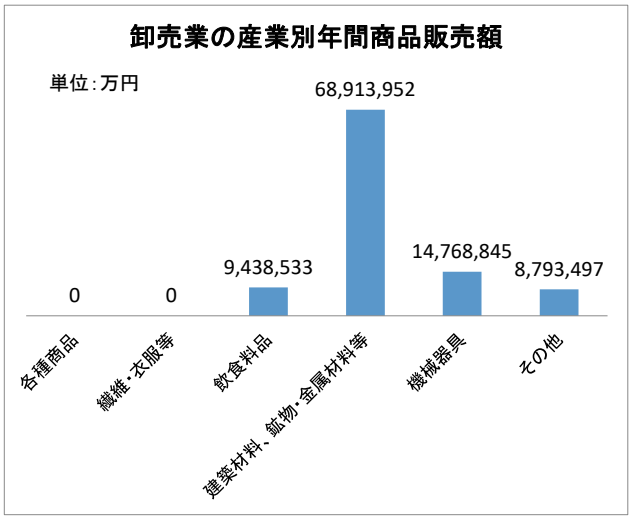
区　　分	事業所数（事業所）	構成比	従業者数（人）	構成比	年間商品販売額（万円）	構成比
中区	2,772	(26.8%)	25,546	(26.3%)	259,790,739	(38.0%)
東区	660	(6.4%)	5,346	(5.5%)	49,861,344	(7.3%)
南区	**1,485**	**(14.3%)**	**12,910**	**(13.3%)**	**121,804,095**	**(17.8%)**
西区	2,055	(19.8%)	22,244	(22.9%)	148,180,367	(21.7%)
安佐南区	1,327	(12.8%)	14,037	(14.5%)	50,812,221	(7.4%)
安佐北区	834	(8.1%)	6,697	(6.9%)	18,589,433	(2.7%)
安芸区	393	(3.8%)	3,720	(3.8%)	15,183,043	(2.2%)
佐伯区	833	(8.0%)	6,482	(6.7%)	18,789,253	(2.8%)
全市	10,359	(100.0%)	96,982	(100.0%)	683,010,495	(100.0%)

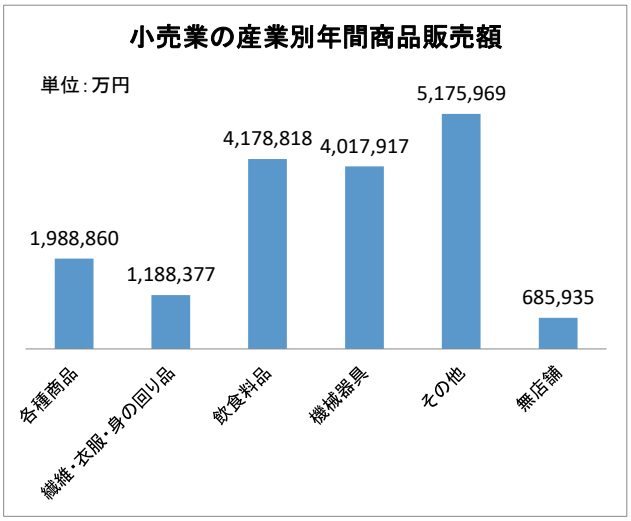
●卸売・小売業の産業別商店数（南区）





●卸売・小売業の産業別年間商品販売額（南区）





工業（工業統計調査、平成30年6月1日現在）

●事業所数・従業者数・製造品出荷額等（従業員４人以上）

区分	事業所数（事業所）	従業者数（人）	製造品出荷額等（万円）
全市	1,161	55,734	320,755,436
南区	**179**	**17,163**	**206,774,564**
全市に対する南区の構成比	**15.4%**	**30.8%**	**64.5%**

4. 保健・福祉・医療

●国民年金取扱状況（拠出年金）

	被保険者				保険料免除者			
区分	総数	第１号(a)	任意	第３号	総数(b)	法定	申請	免除率 (b)／(a)％
全市	227,211	131,892	2,126	93,193	57,657	13,696	43,961	43.7
南区	**26,486**	**15,786**	**262**	**10,438**	**6,883**	**1,759**	**5,124**	**43.6**

（平成３１年３月３１日現在）

注：１号・・自営業者、学生、農林漁業従事者などをいいます。
注：３号・・厚生年金保険や共済組合に加入している方に扶養されている配偶者をいいます。

●病院の概況

区分	病院数	許可病床数	患者数			
			在院延数	入院数	退院数	外来延数
全市	85	15,413	4,704,631	161,151	161,006	4,322,567
南区	**12**	**2,678**	**815,696**	**41,154**	**41,119**	**1,062,273**

（平成２８年１０月１日現在）

●医療及び環境衛生関係施設

区分	医療関係		環境衛生関係			
	薬局	助産所	公衆浴場	理容所	美容所	クリーニング所
全市	681	32	130	964	2,400	958
南区	**115**	**5**	**15**	**158**	**280**	**153**

（医療関係は平成２８年１０月１日現在）
（環境衛生関係は平成３０年３月３１日現在）

●保育所等

区分	施設数	職員及び従業者	うち保育士	児童定員	児童数					
					総数	１歳以下	２歳	３歳	４歳	５歳以上
全市	282	6,889	5,325	28,940	27,754	6,066	5,228	5,461	5,565	5,434
南区	**32**	**813**	**634**	**3,261**	**3,198**	**734**	**635**	**602**	**633**	**594**
市立	**12**	**215**	**177**	**1,208**	**1,197**	**232**	**219**	**242**	**261**	**243**
私立	**20**	**598**	**457**	**2,053**	**2,001**	**502**	**416**	**360**	**372**	**351**

（令和元年５月１日現在）

●生活保護世帯の状況　（単位：世帯、人、‰）

区分	世帯数	人員	保護率
全市	18,523	24,162	20.21
南区（構成比）	**2,857 (15.4)**	**3,529 (14.6)**	**24.69**

注１：保護率（‰）＝保護人員／人口　×　１０００　（令和２年３月中）
注２：平成３１年３月１日から平成３１年３月３１日までの間で認定状態にあったもの

●民生委員・児童委員

区分	民生委員・児童委員協議会数	民生委員・児童委員数		
		区域担当	主任児童委員	計
全市	100	1,650	197	1,847
南区	**13**	**222**	**25**	**247**

（令和２年３月１日現在）

5. 土木・建築

●市道概況

単位：m、㎡、%

区分	路線数	延長		舗装道		砂利道		舗装率
		延長	面積	延長	面積	延長	面積	延長比
全市	15,545	3,820,414	24,429,695	3,581,454	23,831,570	238,960	598,125	93.7
南区	**1,489**	**305,386**	**2,336,221**	**299,059**	**2,322,193**	**6,327**	**14,028**	**97.9**

（平成３１年４月１日現在）

●橋りょう概況

単位：m、㎡

区分	総数		
	橋数	橋長	橋面積
全市	2,405	35,034	291,476
南区	**61**	**2,526**	**42,235**

注：国道、県道分を除きます。　（平成３１年４月１日現在）

●公園等の設置状況

区分		全市		南区	
		か所数	面積(ha)	**か所数**	**面積(ha)**
住区基幹公園	街区公園	1,045	180.19	**99**	**17.66**
	近隣公園	51	108.93	**6**	**9.80**
	地区公園	13	69.77	**—**	**—**
都市基幹公園	総合公園	8	181.86	**2**	**33.67**
	運動公園	5	104.14	**—**	**—**
特殊公園	風致公園	8	62.72	**4**	**31.68**
	動植物公園	2	44.95	**—**	**—**
	歴史公園	1	4.68	**—**	**—**
	墓園	2	16.60	**—**	**—**
広域公園		2	125.45	**—**	**—**
都市緑地		76	66.77	**7**	**2.84**
緑道		8	19.16	**—**	**—**

（平成３１年３月３１日現在）

●市営住宅区別・種別管理戸数

区分	総数	木造	簡易耐火 平屋建	簡易耐火 二階建 特殊耐火	中層 耐火造	高層 耐火造
全市	14,614	18	103	384	8,163	5,946
南区	**1,667**	**2**	**29**	**22**	**624**	**990**

（平成３１年４月１日現在）

6. 上下水道

● **水道事業**　　平成 31 年 3 月 31 日現在　（単位：世帯・人・％）

区　　分	給水世帯数	給 水 人 口	普　及　率
全　　市	５８１,０８５	１，２３２，０１４	９８．１
南　　区	７０，４７３	１４２，２７７	１００．０

※１　全市の数値には行政区域外の府中町、坂町を含む。
　２　普及率＝給水人口÷給水区域内人口×１００

● **下水道事業**　　平成 31 年 3 月 31 日現在　（単位:人・人・％）

区　　分	行政人口	汚水処理人口	普　及　率
全　　市	１，１９４，５２４	１，１５４，４９９	９６．６
南　　区	１４２，２７７	１３８，６５２	９７．５

※　汚水処理人口普及率＝汚水処理人口÷行政人口×１００

7．防災・消防

●南区内の避難場所

◎指定緊急避難場所～洪水や地震などの災害種別ごとに切迫した災害の危険から逃れるための施設又は場所

土砂、高潮、洪水	［１０７か所］集会所、学校、保育所、公民館など
地震、津波等	［２６か所］小学校、公園など

◎指定避難所（生活避難場所）～災害により自宅等での生活が困難になった方が避難生活を送る施設

［３１か所］小学校、中学校、高等学校、公共施設など

※　県立広島工業高校、宇品東小学校、渕崎公園、宇品小学校、段原小学校、広島市民球場（マツダスタジアム）には、飲料水兼用型耐震性防火水槽を整備しています。
　また、避難所に指定している全ての小学校に防災物品を備蓄しています。

●南区火災発生状況等

区分	総数	内訳（件）						死傷者数(人)	
		放火（疑い含む）	たばこ	こんろ	たき火	電灯・電話等の配線	その他	死者	負傷者
平成３１年(令和元年)	32	5	3	2	0	4	18	0	6
平成３０年	29	3	2	6	1	3	14	3	6

●交通事故の発生状況

区分		発生件数（件）	死者数（人）	負傷者数（人）
全市	平成３１年（令和元年）	2,677	19	3,220
	平成３０年	3,353	30	4,014
	増減	▲ 676	▲ 11	▲ 794
南区	**平成３１年（令和元年）**	**298**	**3**	**336**
	平成３０年	**398**	**2**	**473**
	増減	**▲ 100**	**1**	**▲ 137**

（各年１２月３１日現在）

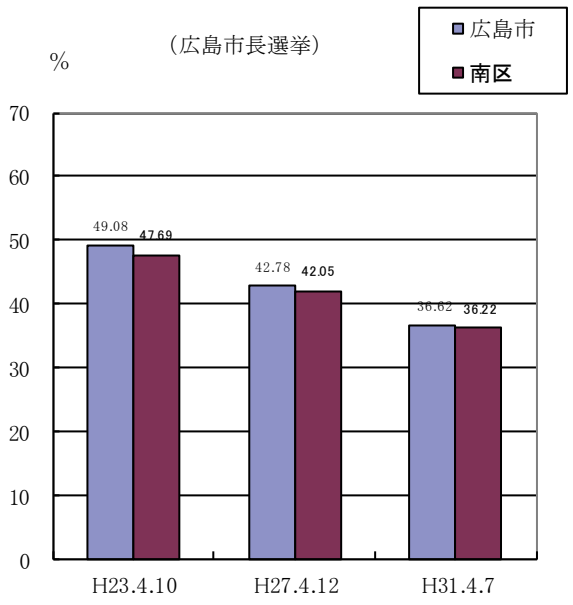
8. 選挙

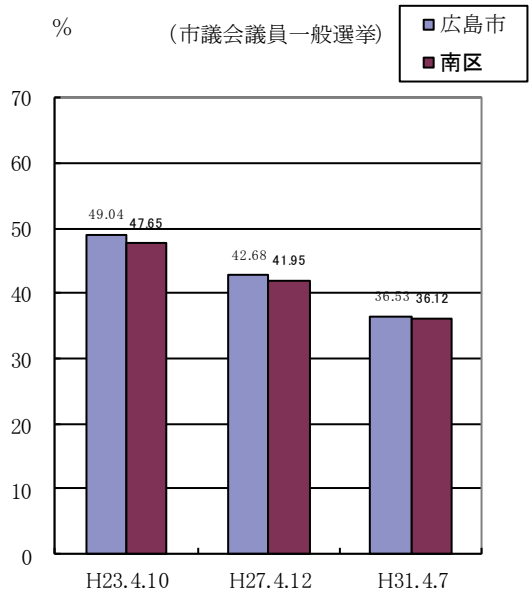
● 選挙人名簿登録者数・議員定数

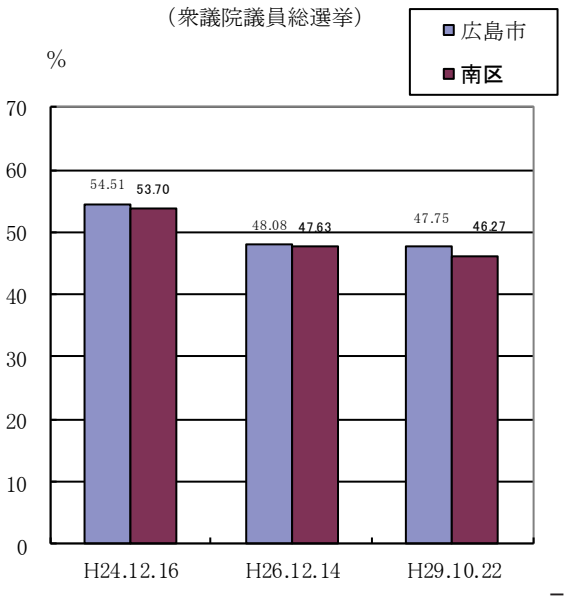
令和２年３月１日現在（単位：人）

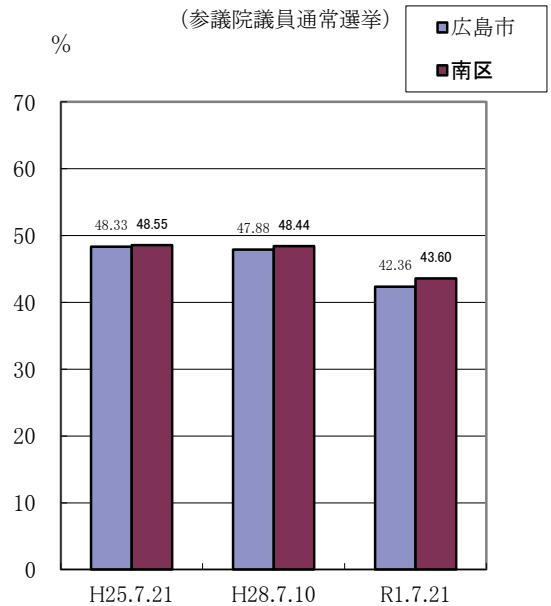
区　　分		広　島　市	南　　区
投　票　区　数		２７７	３３
議員定数	市議会議員	５４	６
	県議会議員	２６	３
選挙人名簿登録者数	男	４７０，８６６	５７，４１０
	女	５１１，０８２	６０，７０７
	計	９８１，９４８	１１８，１１７

● 各種選挙の投票率









9. 南区選出市・県議会議員

※５０音順

● 市議会議員名簿（定数６名）

令和２年４月１日現在

氏　　名	会　派　名
岡村（おかむら）　和明（かずあき）	市民連合
中原（なかはら）　洋美（ひろみ）	日本共産党
中本（なかもと）　弘（ひろむ）	自由民主党・市民クラブ
八軒（はちけん）　幹夫（みきお）	自由民主党・保守クラブ
元田（もとだ）　賢治（けんじ）	自由民主党・保守クラブ
渡辺（わたなべ）　好造（こうぞう）	公明党

● 県議会議員名簿（定数３名）

令和２年４月１日現在

氏　　名	会　派　名
窪田（くぼた）　泰久（やすひさ）	自由民主党広島県議会議員連盟
中原（なかはら）　好治（こうじ）	広島県議会民主県政会
中本（なかもと）　隆志（たかし）	自由民主党広島県議会議員連盟

１０．市民相談

令和２年度

区　　分	相 談 員	相 談 日	相　談　内　容
市　政　相　談	市職員	開庁日	市政に対する意見・要望などについて
人　権　相　談	人権擁護委員	毎月第１水曜日	いじめや嫌がらせなどの人権の侵害などについて
行　政　相　談	行政相談委員	毎月第４金曜日	国の機関、特殊法人などに関する要望・意見などについて
司　法　書　士 法　律　相　談	司法書士	毎月第２木曜日	登記、不動産、会社、相続、成年後見、債務整理（破産など）、裁判、その他身近な法律相談
表示登記・境界相談	土地家屋調査士	毎月第３月曜日	土地の境界に関すること。土地建物の調査測量、土地の分筆・建物の新築等の登記手続などについて
行　政　書　士 法律手続相談	行政書士	毎月第４木曜日	遺言書、遺産分割協議書、任意後見契約、各種契約書、内容証明、外国人の在留、自賠責保険請求や建設業許可・営業許可など各種許認可の法律手続などについて
交通事故相談	交通事故相談員	毎月第４火曜日	賠償額の算定、自賠責保険請求の仕方などについて
暴力被害相談	生活安全専門員	毎月第３火曜日	暴力団の介入をはじめとする暴力が絡む問題などについて

※　市政相談以外は予約制です。

１　予 約 方 法　　相談日当日の 8 時 30 分から電話で先着順
（表示登記・境界相談、交通事故相談は随時、ただし相談日当日の 10 時まで、電話で先着順）

２　予約申込先　　南区役所　市民部　区政調整課　　電話　２５０－８９３３

３　相 談 場 所　　南区役所　市民部　区政調整課

４　相 談 時 間　　13 時から 16 時まで（1 人 30 分間）
暴力被害相談は、13 時から 15 時まで（1 人 30 分間）

５　相談のない日　　土・日・祝日、休日、8 月 6 日、8 月 13 日～8 月 16 日、
12 月 28 日～1 月 4 日

11．指定文化財

区　　分	有形文化財	無形文化財	記　念　物	登録文化財
数	9	1	3	1

区分		名　　称　・　概　　要	所　　在　　地	指定区分	指定年月日
有形文化財	建造物	旧広島陸軍糧秣支廠建物	宇品御幸二丁目 広島市郷土資料館	市重要有形文化財	昭和 60．4．22
	彫刻	木造阿弥陀如来立像	元宇品町 観音寺		昭和 50．4．14
	絵画	絹本著色阿弥陀三尊来迎図	堀越二丁目	県重要文化財	昭和 36．4．18
		絹本著色不動明王画像	宇品御幸二丁目 広島市郷土資料館		昭和 48．12．18
		広島城下絵屏風		市重要有形文化財	昭和 46．7．5
		絹本著色弘法大師画像			昭和 49．2．18
		絹本著色両界曼荼羅	比治山町 多聞院		昭和 53．9．11
		絹本著色阿弥陀三尊来迎図	比治山町 法正寺		昭和 62．6．25
	歴史資料	身幹儀（星野木骨）（附）木箱	霞一丁目 広島大学医学部医学資料館	国重要文化財	平成 16．6．8
無形文化財	民俗文化財	邇保姫神社の獅子舞	西本浦町 邇保姫神社の獅子舞保存会	市重要無形文化財	平成　26．11．26
記念物	史跡	頼家の墓	比治山町 多聞院	県史跡	昭和 15．2．23
		植田艮背の墓	比治山町 多聞院	県史跡	昭和 17．6．9
		比治山貝塚	比治山本町	県史跡	昭和 25．3．22
文化財	登録	広島大学附属中・高等学校講堂 （旧制広島高等学校講堂）	翠一丁目	国建造物	平成 10．9．2

令和２年４月１日現在

１２．主なできごと

年　　号	できごと
天正　17(1589)　4 月	毛利輝元が五ヶ村を「広島」と命名
寛文　元(1661)　6 月	段原・皆実・吉島新開の地詰めを行う
明治　2(1869)　6 月	版籍奉還、旧藩主浅野長勲藩知事に任ぜられる
明治　17(1884)　9 月	宇品築港工事に着工（明治 22 年竣工）
明治　22(1889)　4 月	市制施行（人口 83,387 人）
9 月	市役所（中島新町）開庁
明治　27(1894)　8 月	広島・宇品間仮設軍用鉄道（宇品線）開通
明治　37(1904)　9 月	安芸郡仁保島村字宇品島を広島市に編入
昭和　3(1928)　4 月	市役所新庁舎国泰寺町に竣工
昭和　4(1929)　4 月	安芸郡仁保村を広島市に編入
昭和　7(1932)　12 月	宇品港を広島港と改称
昭和　20(1945)　8 月	8 月 6 日午前 8 時 15 分、原子爆弾により広島市壊滅
昭和　43(1968)　5 月	被爆者特別措置法が公布
昭和　55(1980)　4 月	政令指定都市へ移行、南区役所を開所
5 月	南区スポーツセンター開館
9 月	南区シンボルマーク制定
昭和　57(1982)　7 月	集中豪雨による被害発生（南区：死者 4 名、負傷者 2 名、家屋全半壊 14 棟、家屋浸水 486 世帯、崖くずれ 59 か所）
11 月	住民基本台帳事務のオンライン始動
昭和　61(1986)　9 月	国鉄宇品線運行廃止
昭和　62(1987)　12 月	金輪島に上水道設備完成
平成　元(1989)　4 月	(～11 月)広島港築港 100 周年記念行事開催
5 月	現代美術館開館
平成　2(1990)　7 月	南区民文化センター・南区図書館開館
12 月	海田大橋開通
平成　3(1991)　9 月	台風第 19 号による被害発生（南区：死者 1 名、負傷者 15 名、家屋全半壊 19 棟、家屋浸水 1,648 世帯）
平成　6(1994)　10 月	第 12 回アジア競技大会広島 1994 開催
平成　8(1996)　10 月	第 51 回国民体育大会秋季大会開催
第 32 回全国身体障害者スポーツ大会開催	
平成　9(1997)　5 月	まんが図書館開館
9 月	(～11 月)グリーンフェスタひろしま'97 開催
11 月	似島合同庁舎開館
平成　10(1998)　7 月	(～8 月)第 13 回海の祭典開催
平成　11(1999)　4 月	広島駅南口Ａブロック再開発ビル「エールエールＡ館」開館
8 月	世界音楽祭「オーガスト・イン・ヒロシマ 99」開催
10 月	第 11 回生涯学習フェスティバル「まなびピア広島」開催

	11 月	第 4 次広島市基本計画策定
平成　12(2000)	3 月	広島高速 3 号線（広島南道路）一部区間開通
	6 月	南区役所別館開館
	11 月	第 15 回国民文化祭・ひろしま 2000 開催
平成　13(2001)	3 月	芸予地震による被害発生
		駅前大橋完成
	4 月	留学生会館オープン
	10 月	2001 ねんりんピック広島開催
平成　14(2002)	10 月	全国スポーツ・レクリエーション祭　スポレク広島 2002 開催
平成　15(2003)	8 月	住民基本台帳ネットワークシステム本格稼動
平成　18(2006)	4 月	湯来町を広島市に編入
平成　21(2009)	3 月	マツダスタジアム（広島市民球場）竣工式
平成　22(2010)	4 月	広島高速 2 号線と 3 号線(宇品～吉島)が開通
平成　25(2013)	3 月	第 1 回広島みなとフェスタ開催
平成　26(2014)	3 月	広島高速 3 号線(吉島～商工センター)が開通
平成　28(2016)	4 月	Ｇ７外相会合開催
	5 月	オバマ米国大統領が現職大統領として初めて広島を訪問
	10 月	広島駅南口Ｂブロック市街地再開発ビル竣工
平成　29(2017)	3 月	広島駅南口Ｃブロック市街地再開発ビル竣工
	10 月	広島駅自由通路の全面利用を開始
	11 月	賢人会議・国連軍縮会議を開催
平成　30(2018)	4 月	都市型スポーツの国際大会「FISE(フィセ)」が広島で日本初開催
	7 月	豪雨災害により甚大な被害が発生
令和　元(2019)	9 月	浅野氏広島市入城 400 年記念イベントを開催
	11 月	ローマ教皇来広、平和記念公園から核兵器廃絶と平和への思いを込めたメッセージを発信

１３．南区役所のしごと

（令和２年４月１日現在）

●南区役所の機構と主な仕事（職員数　198 人）

市　民　部

区 政 調 整 課

■区役所内の総合調整　■庁舎管理　■各種統計調査　■区民への広報　■区民の相談・要望等の広聴　など

青崎連絡所

■戸籍の謄本･抄本､住民票の写し､各種証明書の交付　■
国民健康保険のはり・きゅうの施術券交付　など

地域起こし推進課

■区の魅力と活力向上の推進　■安全・安心なまちづくりの推進　■区の災害対策　■公民館及びスポーツセンターとの連絡調整　■町内会等地域コミュニティ団体との連絡調整　■地域の文化・スポーツ振興に関すること　■集会所・児童館の管理運営　■住居表示　など

児　童　館

(14)■児童の健全な遊び場の提供及び遊びの指導　など

市　民　課

住民係	戸籍係

■戸籍　■住民基本台帳　■印鑑登録・証明　■埋火葬の許可　■児童・生徒の就学　■自動車臨時運行許可　など

保 険 年 金 課

■国民健康保険、国民年金に関する事務　■戦傷病者及び戦没者遺族の援護に関する給付金等の請求の受付、証書の交付など

似 島 出 張 所

■戸籍　■住民基本台帳　■印鑑登録・証明　■埋火葬の許可　■児童・生徒の就学　■自動車臨時運行許可　など

厚　生　部

（南福祉事務所・南保健センター）

地域支えあい課

地域包括支援係	地域支援第一係	地域支援第二係

■民生委員・児童委員　■保健衛生の推進に係る団体との連絡調整　■保健と福祉の総合相談　■児童に関する相談　■母子健康手帳 、母子の健康診査　■育児、子育てに関する相談　■健康づくり　■成人及び高齢者の健康相談、健康診査　■感染症対策　■予防接種の相談　■被爆者健康手帳の交付など

福　祉　課

高齢介護係	児童福祉係	障害福祉係

■高齢者の在宅サービス　■後期高齢者医療に関する事務　■介護保険に関する事務　■こどもに係る支援（保育園等入園相談、児童手当、こども医療費補助）■ひとり親家庭に係る支援（児童扶養手当、ひとり親家庭等医療費補助）
■障害者に係る支援（身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、自立支援医療、重度心身障害者医療費補助、障害福祉サービス）　■難病患者に係る支援（特定医療費、小児慢性特定疾病）　など

生　活　課

管理係	第一保護係	第二保護係	第三保護係	第四保護係	第五保護係

■生活保護　■献血の推進　■地域防災計画に基づく災害応急救助　■災害見舞金　■日本赤十字社地区に関することなど

建　設　部

維持管理課（管財係／第一維持係／第二維持係）

■道路・公園等の境界確認・占用・使用許可　■寄附による用地の取得　■屋外広告物の許可　■放置自転車対策
■道路の穴ぼこ・ガードレール等の補修　■公園・緑地の維持補修　■下水道管の補修等の維持管理　など

建築課

■市営住宅の維持管理・入居に関すること　■建築確認申請受付・審査　など

地域整備課

■歩道整備等の道路の新設・改良　■橋りょうの補修　■電線の地中化の整備　■公園・緑地の整備　など

会計課

■現金・物品の受入れ及び払出し、保管及び記録管理に関すること　など

広島市南区選挙管理委員会

■選挙人名簿の作成　■投票・開票の事務　■選挙啓発　など

中央市税事務所南税務室

■市税証明書の交付　■市税の収納　■原動機付自転車の標識交付・返納　■市税の口座振替に関すること　■市税の過誤納金の還付・充当に関すること　■個人市民税（普通徴収、年金所得にかかる特別徴収）の賦課　■個人市民税の申告受付　■固定資産税（土地）の評価・賦課　■特別土地保有税の調査・課税　■固定資産税（家屋）の評価　■軽自動車税の賦課　など

●南区役所各階案内図

南区役所（南区皆実町一丁目5番44号）

4 階	講堂　4－1会議室　4－2会議室　4－3会議室　4－4会議室
3 階	区長室　副区長(兼)市民部長室　区政調整課　地域起こし推進課　南区選挙管理委員会事務局　会計課　区長応接室　3－1会議室　3－2会議室
2 階	建設部長室　維持管理課　地域整備課　建築課　保健所分室
1 階	市民課　保険年金課　南税務室　総合案内

南区厚生部（南区皆実町一丁目4番46号）

4階	地域支えあい課　地域包括ケア推進センター（総合相談窓口）　こども家庭相談センター 地域子育て支援センター　大会議室1・2・3　小会議室
3階	南区社会福祉協議会　南区くらしサポートセンター　相談室　ボランティアセンター 資料収集室　ボランティア研修室点字印刷室　録音作業室　朗読録音室　印刷作業室 子ども室　機能訓練室 福祉団体作業室　キッズひろば「みなみ」
2階	予診･測定室　母子相談室　乳幼児相談室　処置室　診療室1・2　栄養相談室・栄養実習室 歯科相談室　広島市南区医師会
1階	福祉課　母子手帳交付室　生活課　相談室　就労支援窓口

【南区役所】

〒734-8522　南区皆実町一丁目５番４４号　　FAX 082-252-7179

電話番号　**区政調整課**　０８２－２５０－８９３３

青崎連絡所（南区青崎一丁目１２番7号）　０８２－２８１－３８０２

地域起こし推進課　０８２－２５０－８９３５

市　民　課　０８２－２５０－８９３７，８９３８，８９３９

保険年金課　０８２－２５０－８９４１，８９４４

維持管理課　０８２－２５０－８９５６，８９６２，８９５７

建　築　課　０８２－２５０－８９６０，８９４９

地域整備課　０８２－２５０－８９６３

会　計　課　０８２－２５０－８９６５

南区選挙管理委員会　０８２－２５０－８９３４

中央市税事務所南税務室　０８２－２５０－８９４６　FAX 082-254-2624

【南福祉事務所・南保健センター（南区厚生部）】

〒734-8523　南区皆実町一丁目４番４６号　　FAX 082-254-9184

電話番号　**地域支えあい課**　０８２－２５０－４１０９，４１６０，４１３３，４１０８，４１３４

福　祉　課　０８２－２５０－４１０７，４１３８，４１３１，４１３２

生　活　課　０８２－５０４－４１０３，４１０４，４１０５，４１４１，４１４９，４１５５

交通機関：（広電バス・広島バス）⇒南区役所前下車すぐ

（広電電車）⇒南区役所前電停下車徒歩５分

【似島出張所】

〒734－0017　南区似島町字家下７５２番地７４

電話番号　０８２－２５９－２５１１　FAX 082-259-1814

【広島市役所】

〒730-8586　中区国泰寺町一丁目６番３４号　電話は各課直通ダイヤル

ホームページアドレス　http://www.city.hiroshima.lg.jp/

交通機関：（広電バス・広島バス・芸陽バス・クレアライン）⇒市役所前下車すぐ

（広電電車）⇒市役所前下車すぐ

［編集・発行］ 広島市南区市民部区政調整課（広島市南区皆実町一丁目5番44号）

■「南区のまちづくりの方向性」検討資料

現行計画に基づく南区の取組状況

第５次広島市基本計画の将来像

陸と海の玄関の特色を生かしたにぎわいのあるまち

＜施策展開の基本的方向＞
広島駅南口周辺や宇品・出島の開発などにより、広島市の玄関にふさわしい都市機能の集積を図るとともに、多くの人が訪れる玄関の特色を生かしたにぎわいのあるまちづくりを進める。

人と人のつながりを大切にし、みんなが支え合うまち

＜施策展開の基本的方向＞
子どもの居場所づくりや高齢者の見守り活動など地域課題の解決に向けた住民の主体的な取組に対する支援などにより、安全で快適なみんなが支え合うまちづくりを進める。

歴史と文化が息づき、心豊かになるまち

＜施策展開の基本的方向＞
歴史・文化資源の保存・活用や地域の伝統行事等の次世代への継承、水辺を生かした魅力ある空間づくりなどに取り組み、歴史と文化が息づき、心豊かになるまちづくりを進める。

豊かな自然を愛し、環境を大切にするまち

＜施策展開の基本的方向＞
豊かな自然にふれ、その大切さを学ぶことのできる環境づくりに取り組むとともに、自転車や公共交通機関の利用促進を図るなど、地球環境に配慮したまちづくりを進める。

【将来像を実現するための施策】 区の魅力と活力向上推進事業（平成29年度（2017年度）～）

【海と島の魅力づくり】
・宇品の魅力づくり
南区の特性である海と島の魅力の向上を図るため、海の玄関広島港を擁する宇品・宇品東・元宇品地区において、地域住民らと協働して地域の魅力づくり事業を進める。
・似島の魅力づくり
南区の特性である海と島の魅力の向上を図るため、観光資源としても潜在的な可能性を秘めている似島において、島民の主体的な魅力づくり活動を支援するとともに、地域おこし協力隊や島内施設、事業者等と連携して魅力づくり事業を進める。

【地域の宝づくり】
・地域資源の発掘
地域に埋もれた自然や歴史等の資源を掘り起こすため、区内の魅力づくりにつながる情報を収集するとともに、魅力ある地域資源を生み出そうとする活動を支援する。
・地域資源の活用
地域住民が地域に誇りと愛着を感じるまちづくりを進めるため、地域資源や特性を生かしたイベント等を実施する。
・地域資源の発信
地域住民が地域に誇りと愛着を感じるまちづくりを進めるため、印刷物や各種媒体の作成、イベント参加により南区の魅力を区内外に発信する。

【ふれあいともてなしのまちづくり】
・地域のふれあいづくり
地域住民相互のふれあいを促進するため、公共用地等を活用した交流の場づくりを支援する。
・広島駅周辺のコミュニティづくり
広島駅南口市街地再開発事業が概ね完了し、B・Cブロック合計約1,000戸への入居が始まるのを機に、新旧住民の主体的なコミュニティづくりを支援するため、イベント開催等を実施する。

将来像の取組結果

にぎわいのある玄関づくりを推進するため、広島港周辺の魅力をＰＲする「広島みなとフェスタ」の開催や、海を介してつながる江田島、宮島、四国とのイベント相互参加、区内の地域資源を探訪するまち歩きイベントの開催、南区のＰＲ動画の作成・公開、公民館に設置したデジタルサイネージでの地域イベントのスライド紹介などに取り組んだ。

人がやさしいまちづくりを推進するため、旧国鉄宇品線跡地を活用した農作物の栽培やスポーツ施設の運営など、住民主体の地域活動や地域団体が実施する花づくり活動への支援、自主防災組織等と連携した防災訓練の実施、防災マップの作成、防災講演会の開催、避難行動要支援者名簿の作成及び支援関係者への提供、子どもの見守り活動の実施、通学路の点検・整備に取り組んだ。

心豊かに暮らせるまちづくりを推進するため、区内の伝統文化や観光資源を整理した冊子「広島美奈美国風土記」の編集・発行、スイーツづくりなどを通じた「南区七大伝説」のＰＲ活動、サイクリングマップの作成やサイクリングコースを活用したお宝探しゲーム「自転車さんぽ」の開催などに取り組んだ。

環境に優しいまちづくりを推進するため、元宇品を訪れた人々が野外博物館（ミュージアム）のように自然を楽しんだり、学んだりしながら、地球（アース）環境の不思議さや美しさ、大切さを感じ、学べる場となることを目指した「アース・ミュージアム元宇品構想」の実現に向けて、元宇品公園の案内板の整備やガイドブックの作成、自然観察会の開催、環境保全活動の実施に取り組んだ。また、似島に生息するニノシマボタルの保護・育成に向けた環境整備に取り組んだ。

区としての評価

四つの柱に沿ったまちづくりに向け、各事業の実施・展開を通じて、一定の成果に資することが出来た。
一方で、特定の活動団体に固定され横展開の拡がりが不十分であったので、更なる活動団体の掘り起こしが必要。

第１回南区まちづくり懇談会開催結果

アンケートの主な回答

1　南区の地域資源（※　数字は回答数）
＜にぎわい＞
5　広島駅周辺に立地する商業施設
5　広島港や客船埠頭
＜文化・スポーツ施設など＞
3　MAZDA Zoom-Zoom スタジアム広島
＜公園・河岸緑地など＞
3　街区公園などの身近な公園や河岸緑地
＜自然＞
5　比治山及び周辺の緑地
＜地域イベント＞
6　みなとフェスタ、南区安全・安心なまちづくりフェスティバル及び公民館まつりなどのイベント
＜伝統行事＞
3　地域に伝わる伝統的な行事・風習や言い伝え
＜その他＞
3　旧国鉄宇品線跡地のような公共空間
2　南区の身近な課題（※　数字は回答数）
＜地域の活力＞
8　子どもが少なくなった。
6　近所に空き家が増えてきた。
＜コミュニティ＞
5　地域活動の担い手が不足している。
＜防災・防犯＞
7　自然災害への不安が増してきた。
5　地域の防災意識が十分ではない。
＜福祉＞
10　一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯が増えてきた。

現行進行中の取組は継続

第１回南区まちづくり懇談会での主な意見

【住み・集う、魅力ある南区】
・人が来ないと町が明るく発展していかない。
・だれもが南区に住みたいと思うまちづくりが必要。
・自らが住みたいと思う地域づくりがまちづくりの原点。
・南区に魅力を持たせ、人を呼ぶ。
【コミュニティ、ネットワーク】
・町内会等が活性化するには皆が近づき、笑顔で話せるコミュニティ作りが必要。
・色々な形で横の連携をとっていかなければいけない。
・中核になっている者とどのような関わりを持っていくかが大事。
・繋ぎ手自身が繋がり合うネットワークが大事。
・担い手不足が大きな課題。
【安全・安心】
・子どもの悲しい出来事をとにかくないようにしたい。
・明るい世の中にするため、子どもを助けてあげるような活動がしたい。

新しい計画（事務局案）

区のまちづくりの方向性

陸と海の玄関の特色を生かした多くの人が訪れるにぎわいのあるまちづくり

＜概要＞
今後も更なる機能強化が見込まれる広島駅南口や広島港の周辺地区において、広島市の陸と海の玄関としての特色を生かし、住民、企業及び区役所等が協働して魅力を発信し、多くの人が訪れるにぎわいのあるまちづくりを進める。

コミュニティ　産業・観光

人と人のつながりを大切にしたみんなが支え合う安全・安心なまちづくり

＜概要＞
地域活動の担い手の育成や地域の防災・防犯力の強化など地域課題の解決に向け、住民の主体的なコミュニティづくりの取組に対する支援などにより、みんなが見守り支え合う安全・安心なまちづくりを進める。

コミュニティ　福祉　防犯・防災

歴史を生かす、文化やスポーツを楽しむ地域に愛着を持って心豊かに暮らせるまちづくり

＜概要＞
歴史的・文化的資源を保存・活用する取組やスポーツ活動など、子どもから高齢者、障害者など多様な住民が参加する様々な行事を通じて、みんなが地域に愛着を持って楽しく心豊かに暮らせるまちづくりを進める。

文化・スポーツ

山や島などの豊かな自然の魅力を活用した美しいまちづくり

＜概要＞
山や島などの豊かな自然の魅力に触れ、その大切さを学ぶことのできる環境づくりに取り組むとともに、それらの魅力を次世代へ継承していく、自然の魅力を活用した美しいまちづくりを進める。特に似島については、人口減少等の課題解決に向けて、その地域資源を生かした取組を重点的に進める。

コミュニティ　自然環境等

アクションプラン

南区のまちづくりの方向性での整理状況

	南区のまちづくりの方向性（基本計画上は「基本方針」）
1	陸と海の玄関の特色を生かした多くの人が訪れるにぎわいのあるまちづくり
2	人と人のつながりを大切にしたみんなが支え合う安全・安心なまちづくり
3	歴史を生かす、文化やスポーツを楽しむ地域に愛着を持って心豊かに暮らせるまちづくり
4	山や島などの豊かな自然の魅力を活用した美しいまちづくり

テーマ	発言要旨	基本計画本編での掲載節等	南区のまちづくりの方向性	その他
コミュニティ	地域の担い手不足が大きな課題。地域の活動にどうしたら若い人が参加してくれるか。（日浦委員）	・第2部第4章第3節 地域コミュニティや多様な市民活動の活性化	2	
	住んで明るい町、海外の人に来てもらえる町にしたい。（門委員）	・第2部第4章第3節 地域コミュニティや多様な市民活動の活性化	1、3	
	町内会等地域が活性化するには地域のみんなが楽しく、笑顔で話せるコミュニティづくりが基本。（秋田委員）		3	
	だれもが南区に住みたいと思うまちづくりを希望。（加藤委員）		3	
	地域で人を発掘し、次の若い世代に伝えていかないといけない。（神出委員）		2	
	地域の魅力を活かしながら、まちづくりのアイデアについて若い人達と話す場を持つ。（神出委員）		2	
	自らが住みたいと思う仲の良い町がまちづくりの原点。（丸山委員）		3	
	人が来ないと町が明るく発展していかない。（門委員）		1、3	
	人を呼ぶ町、住んでよかったという町、そして人と人が出会って繋がれる町、そういうまちづくりができたら良い。（田丸副座長）		1、2	
	昔子どもだった人が集まって子ども会を盛り上げる機運が高まっている。（角田委員）		3	
	繋ぎ手自身が繋がり合うネットワークが大事。（田丸副座長）		2	
	若い人が地域活動の中核になっている人達とどのような関わりを持っていくかが大事。（山口委員）		2	
	町の中で隠れて困っている人、表に出られない人をまちの行事に引っ張り出して、一緒に楽しく豊かな生活ができるまちづくりがしたい。【再掲】（秋田委員）		3	
	スポーツを通して若い人や高齢者が触れ合う場所や横のつながりが広まっていくといい。【再掲】（沖本委員）		2	
	住んでる人が減るとコミュニケーションがとりにくくなり、まちが衰退する。（門委員）		2	
	町内会がなくなると無法地帯になりかねないので、次の地域の担い手を育成し、町内会を存続させないといけない。（加藤委員）		2	
	昔ながらのお祭りや子ども会の活動を通じて人と人とのつながりやにぎわいができる。（角田委員）		2	
	祭りなどのいろいろな催し物を通じて大人と子どもがつながり、みんなが仲良くなる。（髙橋委員）		3	
	保育園の行事に高齢者が参加するなど色んな世代が交流できるサロンなど広がっていけばいい。（平岡委員）		2	
	皆仲良くなるのが一番。情報交換など、隔たりのない横のつながりがもっとあれば何を始めるにもやりやすい環境ができる。（丸山委員）		2	
	若い人のニーズに合わせた、若い意見がそのまま伝わってくるといい。若い人にもどんどん声をかけていただきたい。（丸山委員）		2	
福祉、防犯・防災	災害対策において、近隣の市町と色々な形で横の連携をとっていかなければいけない。（越智委員）	・第2部第3章第3節 広島広域都市圏の発展への貢献 ・第2部第6章第1節 安全・安心に暮らせる生活基盤の整備		
	国際的な人達を受け入れる町になる必要がある。（越智委員）	・第2部第2章第4節 国際交流・国際協力や多文化共生の推進		
	子どもの悲しい出来事をとにかくないようにしたい。（髙橋委員）		2	
	犯罪のない明るい町にしたいが、子どもに声をかけにくくなっている。子どもを助けてあげるような環境を作りたい。（日浦委員）		2	
	小さな子どもへの声かけを行っている。（平岡委員）		2	
	第5次基本計画にあった子どもや高齢者というのは核になる部分なので、今回の計画から外しても大丈夫か。（田丸副座長）		2	
	町の中で隠れて困っている人、表に出られない人をまちの行事に引っ張り出して、一緒に楽しく豊かな生活ができるまちづくりがしたい。（秋田委員）		3	
	介護などに直面した際に頼れる親族が近くにいなく孤独な人が多いが、身近な人が話を聞いてあげることが一番大切。（平岡委員）		2	

テーマ	発言要旨	基本計画本編での掲載節等	南区のまちづくりの方向性	その他
文化・スポーツ	現代美術館は設備が良いので、展示物を工夫してもっと来館者が多くなるようにしたら良い。（平岡委員）	・第2部第4章第2節 文化・スポーツの振興		
	スポーツを通して若い人や高齢者が触れ合う場所が増えて、それが広まっていくといい。（沖本委員）	・第2部第4章第2節 文化・スポーツの振興	2	
	スポーツという言葉が概要のところにあるが柱に出てこないのが寂しい。（丸山委員）		3	
産業・観光	住んで明るい町、海外の人に来てもらえる町にしたい。【再掲】（門委員）	・第2部第4章第3節 地域コミュニティや多様な市民活動の活性化	1、3	
	国際的な人達を受け入れる町になる必要がある。【再掲】（越智委員）	・第2部第2章第4節 国際交流・国際協力や多文化共生の推進		
	高度な情報化時代を反映した内容の計画の策定を。（門委員）	・第2部第2章第1節 都市機能の充実強化 ・第2部第6章第1節 安全・安心に暮らせる生活基盤の整備 ・第3部 計画の推進に当たって		
	マツダ及び市立大学と連携をとりながら、実験的に車の自動運転に対応した道路のモデル都市を目指してはどうか。（門委員）	・第2部第2章第1節 都市機能の充実強化 ・第2部第2章第2節 産業の振興		
	子育て世代や高齢者が、安価で一日丸々遊べるような場所が欲しい。（神出委員）	・第2部第3章第1節 デルタ市街地やその周辺部、中山間地・島しょ部のまちづくり		
	路面電車で駅と港がつながっているが、もっと交通網が強化されればよりにぎわいが生まれる。（丸山委員）	・第2部第2章第1節 都市機能の充実強化		
	国際会議及び国際機関の誘致を検討して欲しい。（山口委員）	・第2部第1章第2節 「ヒロシマの心」の共有の推進 ・第2部第2章第4節 国際交流・国際協力や多文化共生の推進		
	南区は瀬戸内海に面しており、魚介類を活かして常設の飲食が出来る場所が出来れば人が集まるのでは。（山口委員）	・第2部第2章第3節 観光の振興		
	人が来ないと町が明るく発展していかない。【再掲】（門委員）		1、3	
	人を呼ぶ町、住んでよかったという町、そして人と人が出会って繋がれる町、そういうまちづくりができたら良い。【再掲】（田丸副座長）		1、2	
計画・その他	5か年計画で良いのではないか。（加藤委員）			（アクションプランの計画期間で整理）
	現行計画の総括などがあれば今後の方向性を検討するのに役立つ。（田丸副座長）			「南区「区のまちづくりの方向性」検討資料」、「第５次広島市基本計画の将来像等における取組結果の概要」の資料参照
	現行計画の成果や反省点などをまとめた資料があったら良い。（丸山委員）			
	地区によって物の考え方が違うので、課題を集めてから、話をしていった方が、南区として一つの方向性が出るのではないか。（丸山委員）			第１回から、区内の様々なお立場の委員から、課題等を含む御意見を頂いており、今回（第２回）を含め引き続き、御意見を頂き、計画に反映（アクションプランの検討等）させて行きたい。
	世代別で市の施策に対する諮問グループのようなものを作って市の施策に提案するようにしたい。（秋田委員）			（全体的な方向性で整理）

平成31年度「区の魅力と活力向上推進事業」の取組		今後5年間における方向性とその理由（評価等）
事業名、事業方針等	事業内容	
宇品の魅力づくり 南区の特性である海と島の魅力の向上を図るため、海の玄関広島港を擁する宇品・宇品東・元宇品地区において、地域住民らと協働して地域の魅力づくり事業を進める。 広島みなとフェスタの開催	○　**広島みなとフェスタの開催** 広島港のにぎわいづくりの核となる大規模イベントとして、地域団体・港湾関係団体・経済団体・行政機関で構成された実行委員会により、「広島みなとフェスタ」を、広島みなと公園及び似島で開催する。	継続 平成24年度から開始し、8回目を迎えて、区民に定着している。 平成30年度来場者数： 75,000人
似島の魅力づくり 南区の特性である海と島の魅力の向上を図るため、観光資源としても潜在的な可能性を秘めている似島において、島民の主体的な魅力づくり活動を支援するとともに、地域おこし協力隊や島内施設、事業者等と連携して魅力づくり事業を進める。 似島バウムクーヘン100周年記念 キャンペーンのＰＲラッピングフェリー 似島バウムクーヘン100周年PR 手作りバウムクーヘン焼き体験	1　**広島・似島バウムクーヘン100周年記念キャンペーンの実施** カール・ユーハイム氏が日本で初めて似島においてバウムクーヘンを作り、大正8年（1919年）3月に当時の広島県物産陳列館（現在の原爆ドーム）に出品した。平成31年（2019年）3月に100年を迎えるにあたり、平成31年度を通じて、多方面と協働して、広島・似島とバウムクーヘンの関係をＰＲするキャンペーンを実施。	終了 平成31年で広島・似島バウムクーヘン100周年が終了するため。 ※広島・似島バウムクーヘンのＰＲは継続
	2　**ニノシマボタルを育てる里人の会の支援** 島外の市民が中心となっている「ニノシマボタルを育てる里人の会」の活動（環境整備、観察会開催、会報発行）を支援し、会員にはコアな「似島ファン」として、似島をＰＲしてもらう。	継続 16年目を迎え、会員数も多く活動が定着している。 活動回数：年8回、会員数：85人 （令和元年12月現在）
	3　**島民による地域活性化の取組に向けた支援** 島民が地域の活性化を目的に設立した「似島地区コミュニティ交流協議会」の活動を支援し、住民主体の魅力発信や自主的な活動につなげる。 （活動実績＝スポーツ大会の開催、ウォーキング・登山等の環境整備、花づくり、似島ランチの創作、マスコットキャラクターの活用、似島情報の収集・ＰＲ）	継続 左記のとおり活発に活動しており、引き続き支援する。
	4　**その他関連事業との連携** (1) 似島臨海少年自然の家 似島臨海少年自然の家が、より島の活性化に資するような活用方法について、企画総務局（地域活性推進課）や教育委員会（育成課）等の検討に参画する。 (2) 地域おこし協力隊 似島の魅力を発掘し、紹介等を行うとともに、住民と協力して似島活性化を推進する。	(1) 継続 似島臨海少年自然の家は「似島臨海少年自然の家等の有効活用に係る基本計画」に基づき、有効活用を推進する。 (2) 終了 地域おこし協力隊は予定の3年の任期を終え、令和2年度で終了する。現在の地域おこし協力隊は定住し、引き続き似島の活性化に取り組み、上記の「島民による地域活性化の取組に向けた支援」に加わる予定。
地域資源の発掘 地域に埋もれた自然や歴史等の資源を掘り起こすため、区内の魅力づくりにつながる情報を収集するとともに、魅力ある地域資源を生み出そうとする活動を支援する。 第4回花と緑のまちかど写真館 個人の部　最優秀賞作品	1　**広島美奈美国風土記の編集** 区民グループ「風土記編纂部会」が南区にゆかりのある事柄を取材して、冊子にまとめて発刊する（年2回）。残数が少ないものについて、増刷も行う。	終了 平成17年度から開始し、平成31年度の28号の発刊（予定）をもって、当初の目標を達成した。
	2　**花と緑のまちかど写真館の開催** 区内の花と緑のまちかどの様子の写真を公募し、表彰することで、区内の花と緑によるまちづくりの機運を高める（Facebook等において随時紹介し、区役所、区民文化センター、公民館等で写真展を開催する。）。	終了 平成26年度から開始し、これまで5回開催してきたが、応募数が年々減少したため終了する。次年度からは内容を見直し、「南区わくわくお花サロン」として展開する。
	3　**ニノシマボタルを育てる里人の会の支援（再掲）**	継続
地域資源の活用 地域住民が地域に誇りと愛着を感じるまちづくりを進めるため、地域資源や特性を生かしたイベント等を実施する。 南区スイーツフェアの開催	1　**南区お宝スイーツの開発** 区内の菓子店と高等学校（進徳女子高等学校）で構成する「ひろしま南区スイーツ委員会」が、南区のエピソードに基づくお菓子を開発し、南区スイーツフェアと区内外のイベントで販売する。南区スイーツフェアは10月、また、南区ミニスイーツフェアも広島みなとフェスタに併せて3月に開催する。	継続 7年目を迎え、同校との連携も定着しており、次年度からは新たなテーマのスイーツを開発予定。 平成31年度南区スイーツフェア来場者数：650人
	2　**みなみ区まち探検の開催** 区民グループ「みなみ区まち探検隊」が区内の地域を解説しながら歩く散策会を開催する（年4回）。	継続 平成22年度から開始し、参加者数も安定し、区民の間で定着している。 平成30年度4回開催、参加者数延べ60人
	3　**自転車さんぽの開催** 自転車愛好者グループと協力して設定したコースを、クイズを解きながら自転車で巡るイベントを開催する（年1回）。 （コースやクイズをインターネットでも入手できるようにし、いつでも楽しめるようにする。）	継続 平成23年度から開始し、参加者数も安定し、区民の間で定着している。 平成31年度1回開催、参加者数20人
	4　**元宇品の自然保護と活用** 国立公園特別区域である元宇品の自然を保護し、活用するため、地域住民・自然環境団体等で構成された「アース・ミュージアム元宇品構想推進委員会」と協働し、自然観察会（月1回）、環境保護活動、案内板の維持・管理を実施する。自然観察会を開催する自然観察ガイドの会の運営体制を中心に「アース・ミュージアム構想推進委員会」の今後の活動の方向性を検討する。	継続 平成24年度から開始し、参加者数も安定し、区民の間で定着している。 平成30年度8回開催、参加者数延べ299人（自然観察会）

平成31年度「区の魅力と活力向上推進事業」の取組		今後5年間における方向性とその理由（評価等）
事業名、事業方針等	事業内容	
地域資源の発信 地域住民が地域に誇りと愛着を感じるまちづくりを進めるため、印刷物や各種媒体の作成、イベント参加により南区の魅力を区内外に発信する。 似島マスコットキャラクター「こふじん」	**1　南区散策ガイドの更新** 「みなみ区まち探検隊」が平成24年度に「まち探検隊」の調査をもとに作成した「南区散策ガイド（マップ、全7種類）」の内容を順次見直し、更新を行う。更新にあたっても「まち探検隊」が再調査を行っている。	継続 好評により増刷を重ねている。 平成29年度に広島駅周辺と似島・金輪島を更新。平成30年度は似島・金輪島を5,000枚増刷。
	2　南区の動画コンテンツの上映 平成29年度に作成した、南区をＰＲする動画を、駅前地下広場大型映像装置、区内公民館に設置したデジタルサイネージ、イベント会場等で上映する。また、Facebook等インターネット上での公開も検討する。	継続 新たにインターネット上での公開も含め、上映を継続する。 上映施設数：7か所
地域のふれあいづくり 地域住民相互のふれあいを促進するため、公共用地等を活用した交流の場づくりを支援する。 旧国鉄宇品線跡地（国有地）の活用（菜園づくり）	**1　旧国鉄宇品線跡地（国有地）の活用** 広大な未利用地であった宇品東地区の宇品線跡地について、地域住民らで組織した市民活動グループと協働し、農作物の栽培やスポーツ施設の運営により地域内での交流を図りながら、美観の維持を図る。北側地区は「ポッポ宇品線花と農の会」、南側地区は「宇品パークゴルフ場運営委員会」が担当している。農作物の栽培では食農推進事業を活用する。	継続 地域住民の交流を図りながら、美観が維持されている。
	2　花と緑のまちづくり地域活動促進事業の推進 地域団体等が実施する花と緑のまちづくり活動に対して、苗や資材の提供により支援する。	継続 本市の取り組み（花と緑の広島づくり）を推進するため、引き続き支援する。 平成30年度提供団体数4団体、提供回数7回
広島駅周辺のコミュニティづくり 広島駅南口市街地再開発事業が概ね完了し、Ｂ・Ｃブロック合計約1,000戸への入居が始まるのを機に、新旧住民の主体的なコミュニティづくりを支援する。 広島駅周辺地区まちづくり協議会おもてなし一斉清掃	**1　「川の駅マルシェ」の開催** 観光客や通勤客が比較的少ない休日の朝などに、「川の駅」（Ｂブロック前の河岸緑地）で新旧住民が立ち寄れる朝市を開催し、住民の交流の場をつくる。（株）広島駅南口開発に委託し、住民の協力を得て実施する。（平成29年10月29日から開始）	終了 当初設定した3年の計画期間が経過したため終了する。令和元年12月までに20回開催
	2　広島駅周辺のまちづくりの取組（エリアマネジメント等）の促進とそれら活動との連携 広島駅周辺で実施しているまちづくりの取組と連携して、広島駅周辺のまちづくりに参画する（広島駅周辺地区まちづくり協議会等）。	継続 広島駅周辺地区まちづくり協議会では、広島市エリアマネジメント活動計画認定制度を使った取組を始めたところであり、引き続き連携してコミュニティづくりを支援する。 ※広島駅周辺地区まちづくり協議会会員数：35団体（令和元年11月現在）

住民自ら行うまちづくり活動への支援（補助金）【平成31年度分】		今後5年間における方向性とその理由（評価等）
事業名、事業方針等	事業内容	
区の魅力と活力向上推進事業補助金 区役所が設定したテーマ等に基づき、3人以上で構成される地域団体等が主体的かつ継続的に取り組む活動に補助金を交付する。	**1　しののめさんフェスティバル** **～「夢」と「音楽」をとどけよう～** **【実施主体：東雲地区商店会】** 音楽イベント等を通じて、地域でのコミュニケーションを取る機会を創出するとともに、事業参加者を増やし、コミュニケーションがしっかりと取れる地域へと成長させる。 **2　バームクーヘンカップ2020『サッカー＆３×３バスケットボールフェスタ IN 似島』** **【実施主体：似島活性化スポーツ事業実行委員会】** サッカー及びバスケットボールを通じてその競技を楽しむとともに、似島の自然と歴史的事実を学び、地域内外の人との交流を深める。 **3　第４回【比治山祭】** **【実施主体：広島段原ショッピングセンター】** 「比治山祭」を開催することによって、比治山に活気をもたらし、比治山の活動性や認知度を向上させる。	継続 引き続き住民自ら行うまちづくり活動に支援を行う。 現在の活動については、補助金の交付が終了しても、現在の実施主体が引き続き自主財源にて継続して活動を続けることになっている。
“まるごと元気”地域コミュニティ活性化補助金 町内会・自治会、子ども会、地区社会福祉協議会が地域コミュニティの活性化を図るため、新たに、主体的・継続的に取り組む活動に補助金を交付する。	○　**声かけバッジ運動** **【実施主体：翠町学区社会福祉協議会】** 翠町学区社会福祉協議会は自らが作った計画（第2次翠町学区福祉のまちづくりプラン）のテーマに「「笑顔とあいさつのまち」をめざして」を掲げ、あいさつ運動に力を入れている。 そのあいさつ運動のシンボルとして、声かけバッジ（缶バッジ）を製作し、子どもや見守り活動者等地域住民が着用することで、あいさつ運動を促進し、地域住民同士の連帯意識を醸成するとともに、次代を担う子ども達の地域社会に対する意識醸成につなげる。	

「南区のまちづくりの方向性」に基づき今後5年間で検討する事業についての事前の意見照会結果

第6次広島市基本計画本編にて趣旨を同じくする内容が記載されている意見は（）で囲んでいる。

南区のまちづくりの方向性	取組に向けた視点	松田座長	田丸副座長	秋田委員	沖本委員	門委員	加藤委員	神出委員	平岡委員	丸山委員
○陸と海の玄関の特色を生かした多くの人が訪れるにぎわいのあるまちづくり 今後も更なる機能強化が見込まれる広島駅南口や広島港の周辺地区において、広島市の陸と海の玄関としての特色を生かし、住民、企業及び区役所等が協働して魅力を発信し、多くの人が訪れるにぎわいのあるまちづくりを進める。	・住んで明るい町、海外の人に来てもらえる町にしたい。 ・人を呼び、住んでよかったと思える、人と人が出会ってつながれるまちづくりがしたい。	―	―	―	・広島みなとフェスタの拡大（南区以外の人の参加を積極的に呼びかける。）。 ・プロスポーツ選手を呼んでスポーツの祭典、イベントをする。		・おもてなしの心の充実 ・自分が住んでよかったと思えば来客全てが満足していただけると思う。 ・外国人に対してはハード面もさることながら、ソフト面も充実する必要がある。例えば英会話が可能な人の育成（時間はかかると思う）。	・最近、海外からの来広者が多い中、英語の看板を増やし、キャッシュレスの店を増やしていけばいいのでは（海外クルーズの乗客が宇品で買い物等出来るような魅力ある店を作る）。	―	・町の風景等を生かし、来て写真を撮りたくなる様な、外観を造っていけば来たい住みたいになっていくと思う。 ex. ライトアップ、モニュメント、歩道の色
○人と人のつながりを大切にしたみんなが支え合う安全・安心なまちづくり 地域活動の担い手の育成や地域の防災・防犯力の強化など地域課題の解決に向け、住民の主体的なコミュニティづくりの取組に対する支援などにより、みんなが見守り支え合う安全・安心なまちづくりを進める。	・地域の担い手育成のため、若い人達に地域の活動に参加してもらいたい。 ・色々な行事などで様々な世代がつながり合い交流する中で、まちづくりのアイデアが出てくるようにしたい。 ・子どもに声をかけにくくなっているが、犯罪などの悲しい出来事がないようにしたい。 ・孤独な環境にある人は身近な人が話を聞いてあげることが大事。	・活動名 「ご近所の底力掲示板」 ・運営主体 南区まちづくり支援センター（南区地域起こし推進課） ・目的 南区内でまちづくり活動上の課題解決に成功した事例について、その課題、取り組み内容などを掲示し、南区内の他地区の課題解決などに役立てる。 ・背景 南区は狭いながらも地区それぞの課題や解決の成功事例があり、他地区における課題解決の参考にできる。	・子育て支援、防災・防犯、高齢者の見守りなどの各分野で、それぞれの地域づくりの繋ぎ手同士が顔を合わせて、行政部局の担当課のバックアップのもとに地域の実情を交換し、まちづくりの課題を協議するネットワークを設ける。 ・低年齢児を育てる世代にとっての保育所・公民館やオープンスペース、学齢期世代にとってのPTA組織や学童保育クラブ、青年期世代にとってのフリースペース、地域行事を担う世代が集いやすい公民館など、各世代にとって拠点となる地域資源を把握し、今後の地域の拠点づくりを構想する。	1　大学卒業あるいは高校卒業で就職した若い人達が、数年も経たずして仕事を辞め、フリーター化している。そして再就職もできない人が多すぎる。広島市は、こうした再就職を求める人たちのバックアップを積極的に行う必要があるのではないか。若い人たちに安定した生活力を身に着けさせることが、一社会人として人と人とのつながりを大切にする生き方に発展すると思う。 2　地域の担い手育成のために若い人達に地域の活動に積極的に参加してもらいたいと思っても、今の若い人達には、そんな余裕がなさすぎる。特に民生委員という制度は、もう今の時代には即さない。広島市は、老々介護の世帯や高齢の独身世代或いは生活保護世帯の人達に、事務連絡用の専用のスマートフォンを義務的に持たせるのがよいと思う。朝、昼、夜と定期的にそれぞれに必要な一斉メールを流し、その返事でその人達の現況が把握できるようにするのがよいと思う。 3　車を運転するドライバーが、横断歩道の手前で一旦停止する意識が低く、事故が多いという。広島市全体で「ストップ・ザ・横断歩道」の運動を奨励し、全国一の横断歩道付近での事故の少ない街となることが住みよい安全・安心なまちづくりに直結すると思う。 4　「地球の温暖化」を緩やかにさせるために、広島市は何をしているのだろう。積極的に対策を打ち出す気があるのだろうか。広島市は、日々の生活の中で、市民に何ができるのか、何をしなければいけないのかをしっかり明確にし、市民に提案して、形のある実践をしなければいけない。「地球の温暖化」を緩やかにするための全国一の実践都市として実績を作ることが、今、何より必要である。	・年中行事（とんど、運動会、盆踊り、敬老会等）の参加者を増やす。直接声をかけ、幅広く住民に参加してもらい、その中でコミュニケーションをとり、顔と顔が見える関係を作る。	・身体の不自由な人々を中心に勤められる多数の企業立地・連携と団地形成。そのための通勤利便性への配慮。 ・島しょ部産物の海上輸送と受け入れ団地、企業での活用。そのための港湾整備。（県の中枢都市である広島市は他地域の活性化にも寄与すべき）	・中学生高学年以上の人を公募してはどうか。 ・人と人がつながるためには防災も考えねばならないと思う。 ・地域に育った行事を広報することが必要。	・現在町内会の役員をしているが、若い人には役には就いてもらわず、イベントごとに声をかけ手伝いをお願いすると積極的に企画等に加わってくれる。町内会でＬＩＮＥグループを作り、わざわざ集まって会議を開催しなくともグループＬＩＮＥで物事が決定していく。情報を携帯で共有する方法もあるのではないか（犯罪情報等も）。	・私に出来ることは声かけ運動で知らない若い人とも話しをしている。人と人との繋がりが大切だと思っています。	・団塊、新人類、バブル、氷河期、団塊ジュニア、ミレニアム、ゆとり世代とニーズや考え方の違いを柔軟に具体的に審議していかないといけない。例えば、ＰＴＡの様に組織が定期的に入れ替わる団体からの意見は貴重だと思う。忙しい世代ではあるが、そこが出て来る今のニーズにあったメリットを作れればいいと思う。
○歴史を生かす、文化やスポーツを楽しむ地域に愛着を持って心豊かに暮らせるまちづくり 歴史的・文化的資源を保存・活用する取組やスポーツ活動など、子どもから高齢者、障害者など多様な住民が参加する様々な行事を通じて、みんなが地域に愛着を持って楽しく心豊かに暮らせるまちづくりを進める。	・みんなが楽しく、笑顔で話せるコミュニティづくりが基本。 ・住みたいと思えるまちづくりがしたい。 ・祭りなどの地域行事を通じてみんなが仲良くなり、困っている人とも楽しく豊かなまちづくりがしたい。	―	・例えば、授乳やオムツ替えに困らない子連れのお出かけスポット、雨の日も過ごせる親子のスペース、若者が自由にスケボー、ボルダリングなどのスポーツやバンド活動が楽しめる設備のあるところなど、対象や活動目的がはっきりわかりやすいマップを作成し、目的に応じてどこに配置するか（小児科クリニックや学校の協力を探る）協議して実現する。	―	・既存の団体（いきいきサロン、100歳体操等）のリーダー的存在の人、退職した人達を中心にソフトスポーツ、自宅で簡単にできる運動を勉強してもらって（リーダー養成）周りの人に広めてもらう。	―	・Ｉターン、Ｕターン特にＩターンを希望する人に不安を払拭し、なじみやすい環境を作ることが必要だと思う。	・地元の魅力を高齢者などにも伝えられる方法を考え、携帯など使えない人にも情報を広報誌で流す。 ・サロンの役割も重要ではないか。	・亥の子には多くの人が参加していてとても和気あいあいと引き連れている。	・亥の子ひとつにとっても様々な地域で違いがあり、祭りを視察し合う等、出来れば面白い。 ・スポーツでは、フラバールバレー等、ニュースポーツを豪華景品で大会等出来ればもっともっと沸くと思う。
○山や島などの豊かな自然の魅力を活用した美しいまちづくり 山や島などの豊かな自然の魅力に触れ、その大切さを学ぶことのできる環境づくりに取り組むとともに、それらの魅力を次世代へ継承していく、自然の魅力を活用した美しいまちづくりを進める。特に似島については、人口減少等の課題解決に向けて、その地域資源を生かした取組を重点的に進める。	―	―	―	―	・「いきいき体験オープンスクール」（カヌー、魚釣り、山登り、リレーマラソン、野外炊飯、バウムクーヘン、かき打ち、農村体験） ・イベント、地域の活性化	・牛田、比治山、黄金山、似島、宇品島、金輪島、江田島、宮島、広島港などの再評価に基づく町づくり構想検討委員会設置。	・最良の自然があり、これを色々な方法で使うことが必要だ。	―	・ベンチを時々見かけますが、とてもいいと思います。年齢のいっている人はとても助かっています。	・自然の魅力を感じられる所にお弁当を食べれる様なスペースとかベンチとか子どもを連れて行きやすくなればいいなと思う。看板等も含めて。

登 録 番 号	広 Q1-2020-199
名　　称	南区のまちづくりに向けたアクションプラン
編集・発行者	広島市南区役所市民部地域起こし推進課 広島市南区皆実町一丁目５番 44 号 （〒734-8522） TEL 082-250-8935
発 行 年 月	令和２年（2020 年）９月